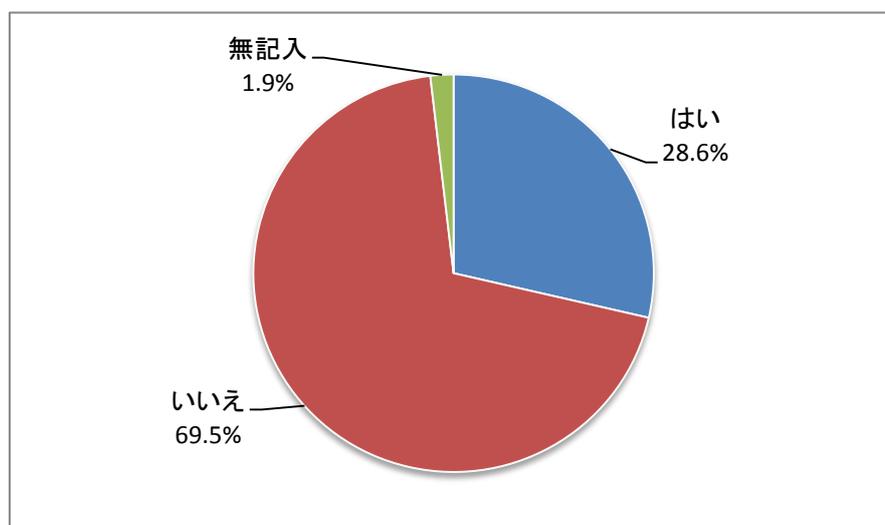


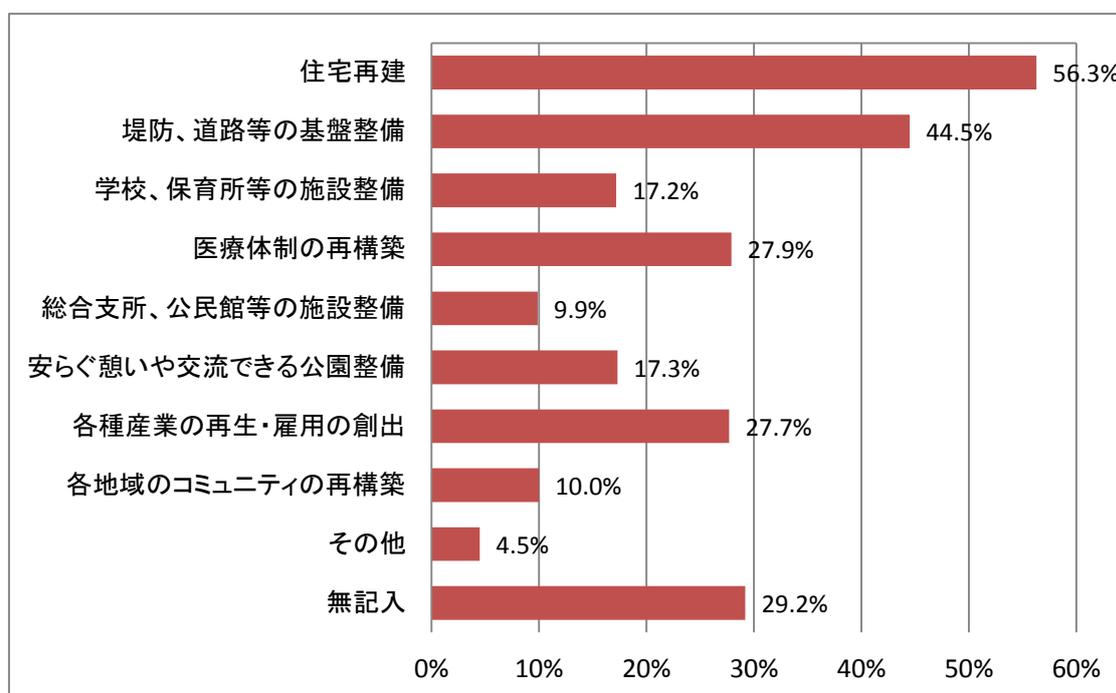
## 第4章 結果の概要

### 1 東日本大震災に伴う復旧・復興事業について

問1 石巻市の復旧・復興が進んでいると感じていますか。1つ選んでください。



問2 問1で「いいえ」と答えた方に質問します。遅れていると感じている主な事業は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。



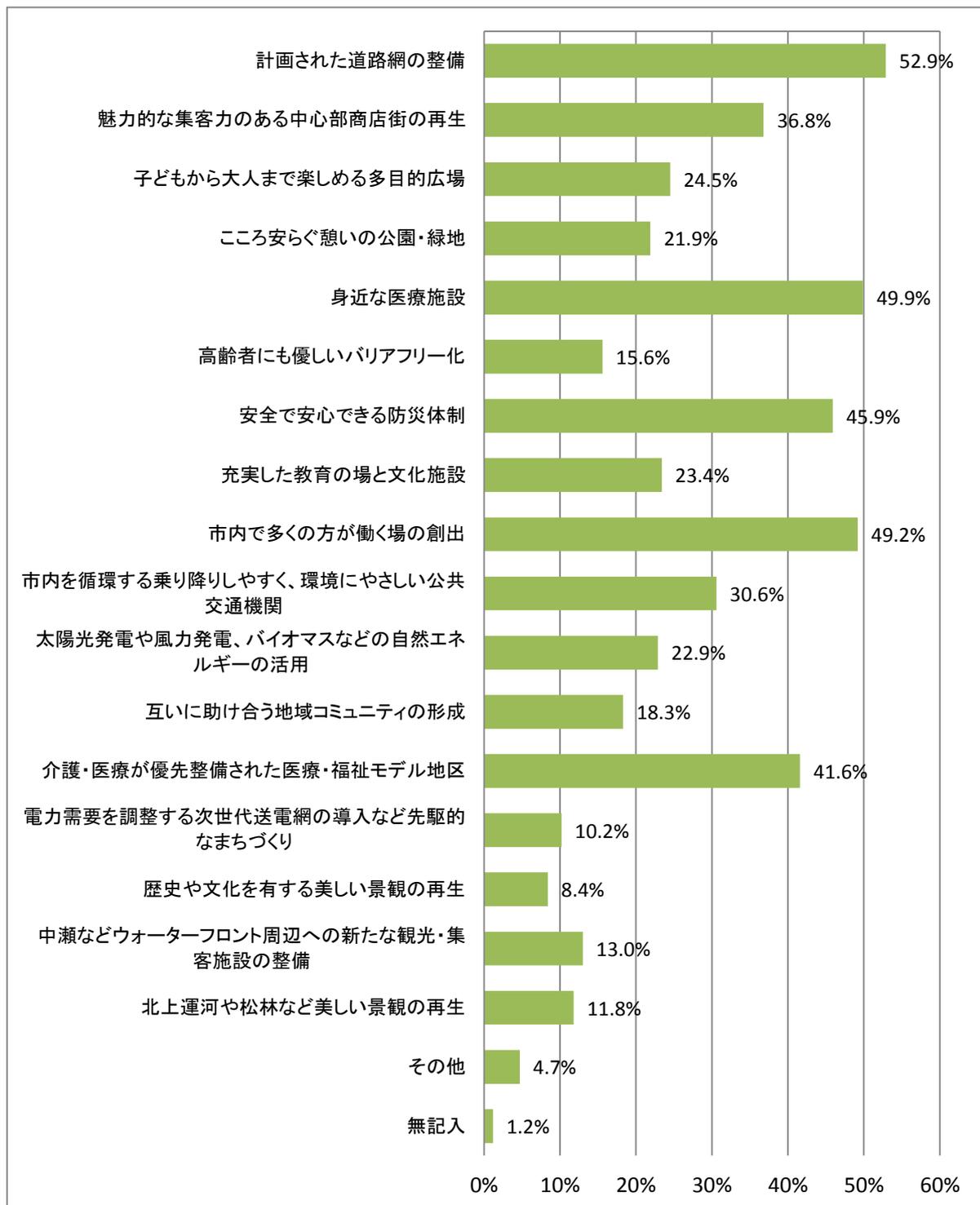
(回答数の多い順)

石巻市の復旧・復興について、70%近い市民の方が「進んでいない」と感じています。

そのように感じる主な事業として、「住宅再建」を挙げる方が56.3%、「堤防、道路等の基盤整備」が44.5%、「医療体制の再構築」が27.9%となりました。住まいの再建と安全・安心のまちづくりが渴望されていることがうかがえます。

また、全体の4人に1人が「各種産業の再生・雇用の創出」を選択しており、職の再建を引き続き進めていく必要があると考えています。

問3 石巻市の将来の再生・発展のために望むまちづくりについてお聞かせください。  
特に重要と思うものを5つ選んでください。



(回答数の多い順)

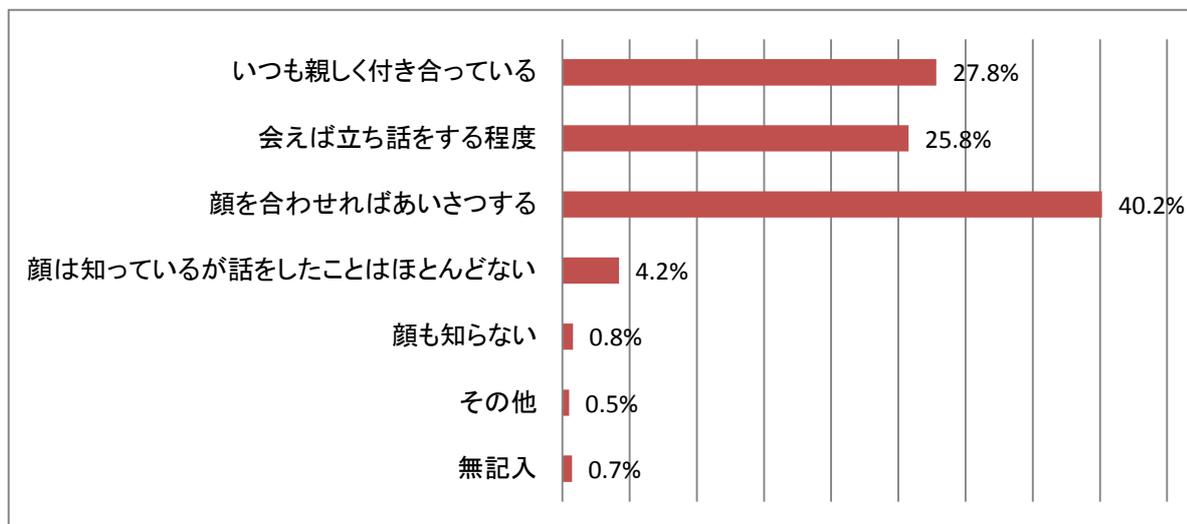
石巻市の再生・発展のために、「計画された道路網の整備」が望まれると回答した方が52.9%おり、市民の強い意志を読み取ることができます。

また、問1や問2と同様に、「身近な医療施設」「介護・医療が優先整備された医療・福祉モデル地区」といった医療面や、防災面（「安全で安心できる防災体制」）、雇用面（「市内で多くの方が働く場の創出」）の改善に期待する声が、特に多いことがわかります。

## 2 地域福祉について

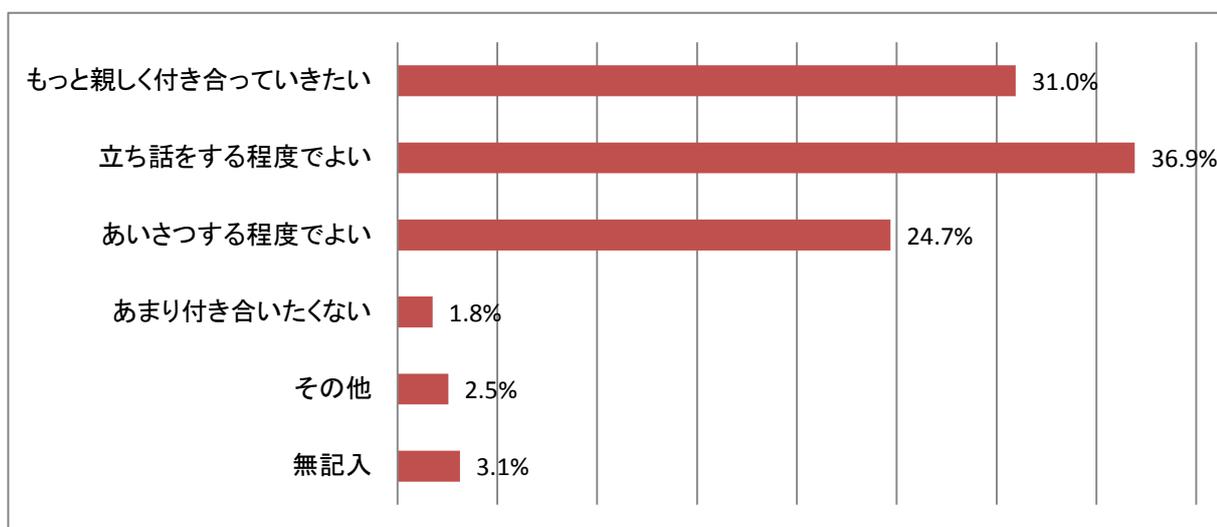
### I 地域での生活についてお聞きします

問4 あなたのご近所とのお付き合いに最も近いものを1つ選んでください。



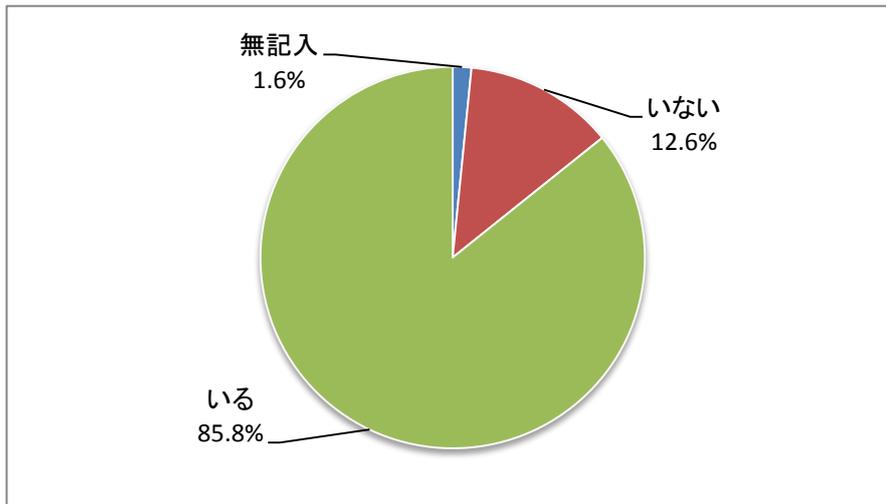
「いつも親しく付き合っている」「会えば立ち話をする程度」「顔を合わせればあいさつする」と答えた方が全体の93.8%となっています。地域において、「お互いに顔の見える関係」ができていくことがうかがえます。

問5 今後のご近所とのお付き合いについてあなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。



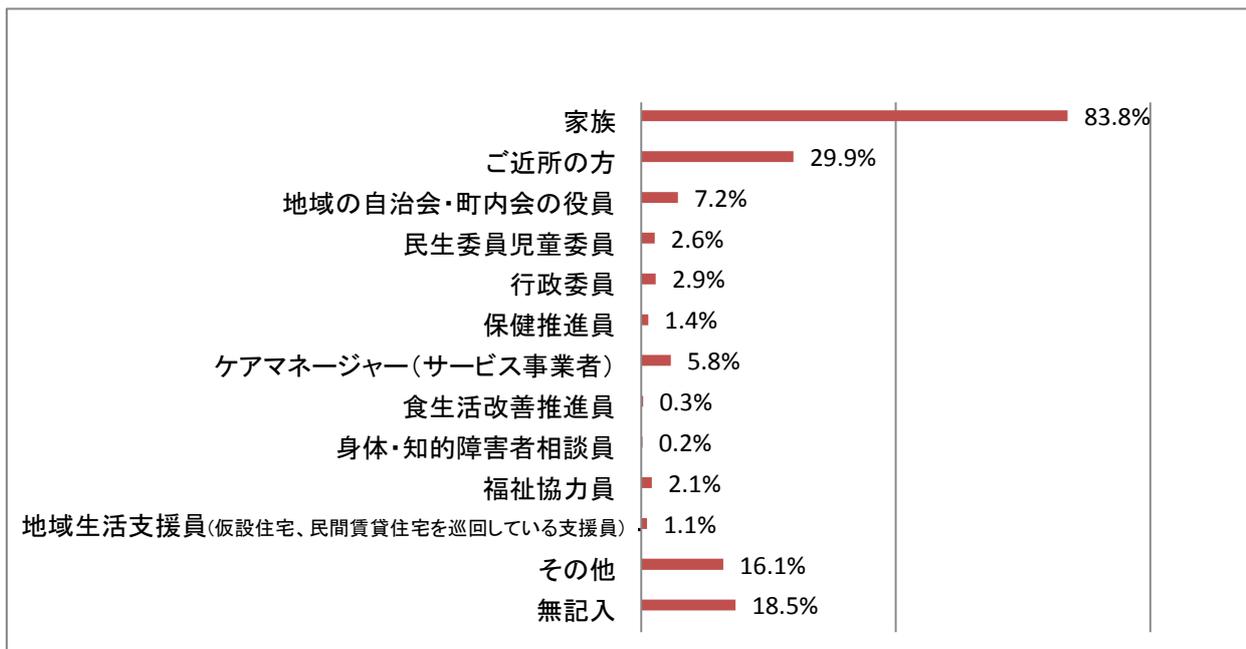
「立ち話をする程度でよい」と答えた方が36.9%と最も多く、次いで「もっと親しく付き合っていきたい」31%、「あいさつする程度でよい」24.7%となっています。全体の9割の方が、今後ともご近所とのつながりをもっていきたいと感じているようです。

問6 あなたは日常生活での困りごとを相談できる人や頼れる人はいますか。1つ選んでください。



「いる」と答えた方が85.8%に対し、「いない」と答えた方が12.6%となっています。全体の1割強の方が、困りごとを相談できる人や頼れる人がいないと答えており、支え合いを必要としている方が多いことがうかがえます。

問6-1 問6で「1 いる」を選択した方にお聞きします。それはどんな方ですか。当てはまるものを全て選んでください。

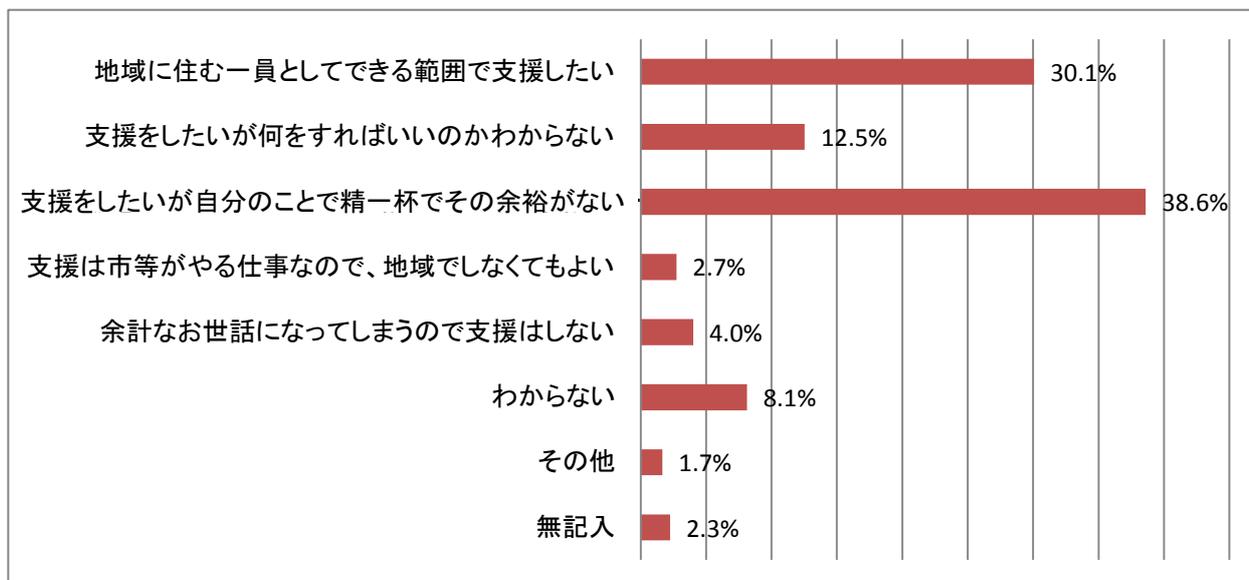


複数回答ではありますが、「家族」と答えた方が83.8%と最も多く、次いで「ご近所の方」29.9%となっています。「その他」の回答では、友人、知人と答えた方が多くいました。

また、「ご近所の方」を選択した割合が高いことから、家族以外にも、地域の中で相談できる相手がいることがうかがえます。

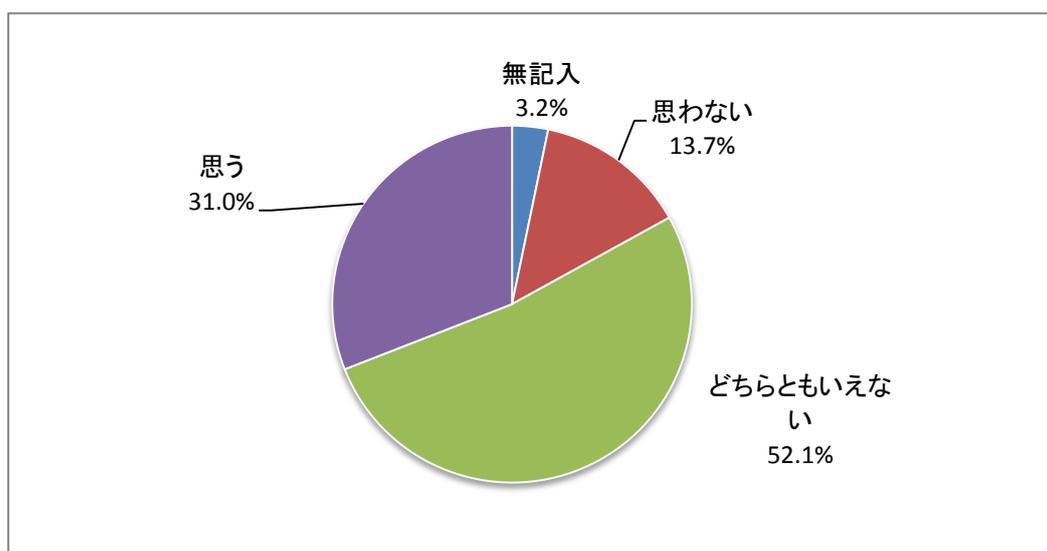
## II 地域とのかかわりについてお聞きします

問7 地域に住んでいる、何らかの支援を必要としている方（一人暮らしの高齢者・介護をしている家族、子育て中の家族等）への支援（日常生活上の手助け・お手伝い）について、あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。



「支援をしたいが自分のことで精一杯でその余裕がない」と答えた方が38.6%と最も多く、次いで「地域に住む一員としてできる範囲で支援したい」が30.1%となっています。「支援をしたい」「支援をしたいが何をすればいいのかわからない」と答えた方が42.6%と全体の4割となっており、地域での支え合いに協力したいと考えている方が多いことがうかがえます。

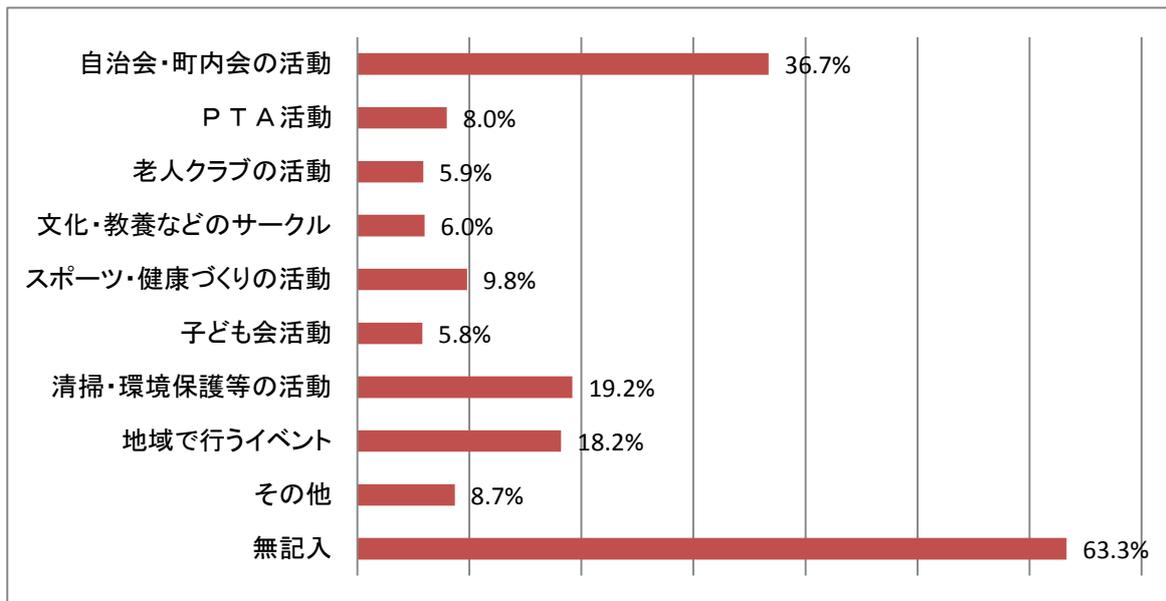
問8 あなたは住んでいる地域のこれからの地域福祉について話し合う場があれば参加したいと思いますか。1つ選んでください。



「どちらともいえない」と答えた方が52.1%と最も多く、次いで「思う」が31.0%となっています。全体の3割の方が「思う」と答えており、自分たちの地域のこれからの福祉について話し合いたいと考えている事がうかがえます。

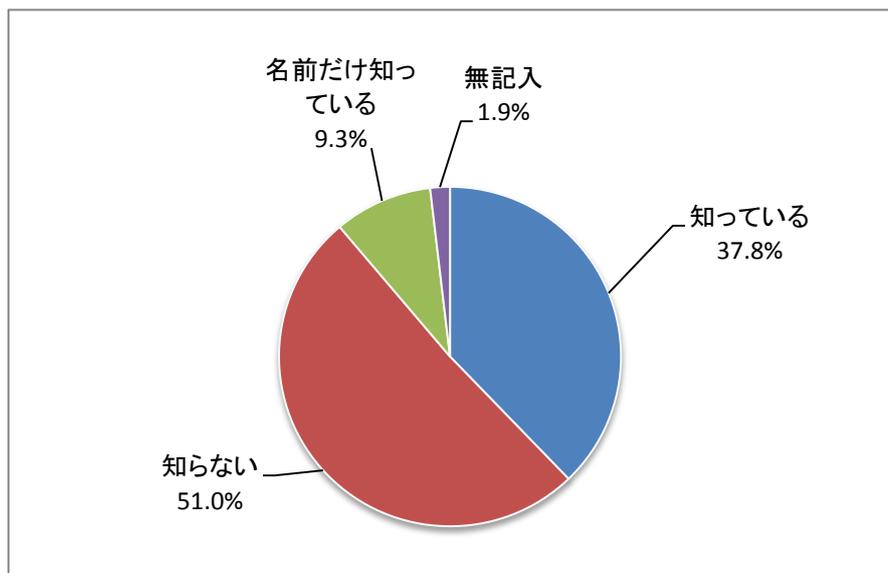
また、問7で、地域での支え合いに協力したいと考えている方が多いことから、問8で「どちらともいえない」と答えた5割の方は、何らかの機会があれば、参加したいと感じているのではないかと思います。

問9 あなたはどのような地域活動に参加していますか。当てはまるものを全て選んでください。



複数回答ではありますが、「自治会・町内会の活動」への参加が36.7%と最も多く、次いで「清掃・環境保護等の活動」への参加19.2%、「地域で行うイベント」への参加が18.2%となっています。ただし、「無記入」の回答が63.3%と最も多く、いずれの活動にも参加していない方が多いことがうかがえます。

問10 あなたは住んでいる地域の民生委員・児童委員を知っていますか。1つ選んでください。



「知っている」、「名前だけ知っている」と答えた方と、「知らない」と答えた方の割合が、ほぼ半々という結果でした。民生委員児童委員は、主に高齢者の方々と接する機会が多いため、65歳以下の地域住民の方々への認知度が低いとも考えられますが、今後も活動に対する啓発・推進を図ることが重要となってきます。

問 1 1 あなたは地域での支え合いを強めるために必要なことは何だと考えますか。

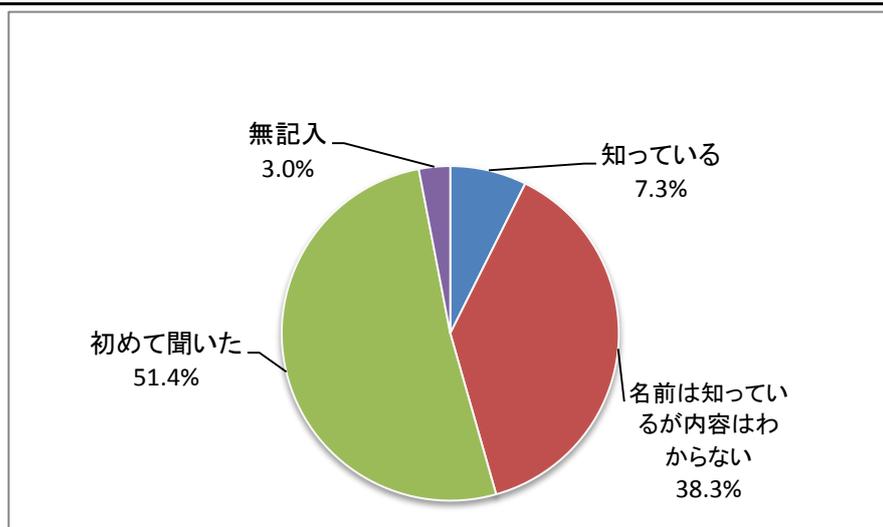
普段からの「あいさつ」の大切さや「思いやりの心」を持つこと。「言葉がけの大切さ」、「互いに協力し合うこと」、「町内会活動の活性化」、「班単位など、小さな単位でのコミュニティ作り（集まり）」など、様々なご意見をいただきました。

総合すると、「ご近所付き合いの中での日頃からのコミュニケーションの大切さ」が支え合いにつながると回答した方が最も多く、お互いに顔の見える関係づくりが支え合いの第一歩であると皆さん感じているようです。

また、「支え合うために困っている人の情報がほしい」「支え合いのきっかけづくりが欲しい」との意見もあり、地域での支え合いには、地域の中での情報の共有も大きな課題であることがうかがえます。

### Ⅲ 地域福祉計画についてお聞きします

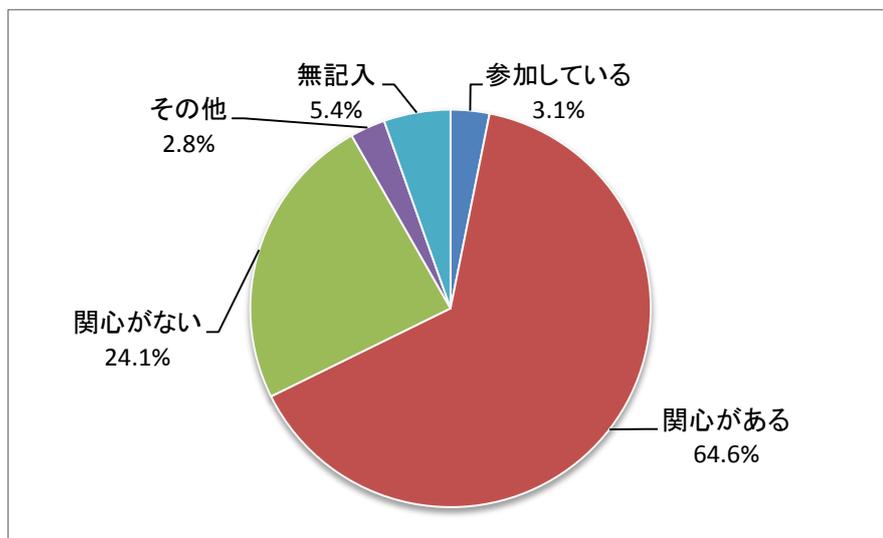
問 1 2 あなたは石巻市の地域福祉計画を知っていますか。1つ選んでください。



「初めて聞いた」が51.4%と最も多く、次いで「名前を知っているが内容はわからない」が38.3%となっています。「知っている」が7.3%と最も少なく、計画が市民の皆さんに浸透していないことがうかがえ、今後も啓発・推進を図ることが重要となってきます。

#### Ⅳ 地域包括ケアについてお聞きします

問 1 3 あなたは、地域で支え合うまちづくりに関心がありますか。1つ選んでください。



地域で支え合うまちづくりへの関心は、『参加している』、『関心がある』と回答された方々の合計が67.7%と7割近い市民が高い関心を持つ一方、関心がないと回答された方が24.1%と、およそ4人に1人となっています。

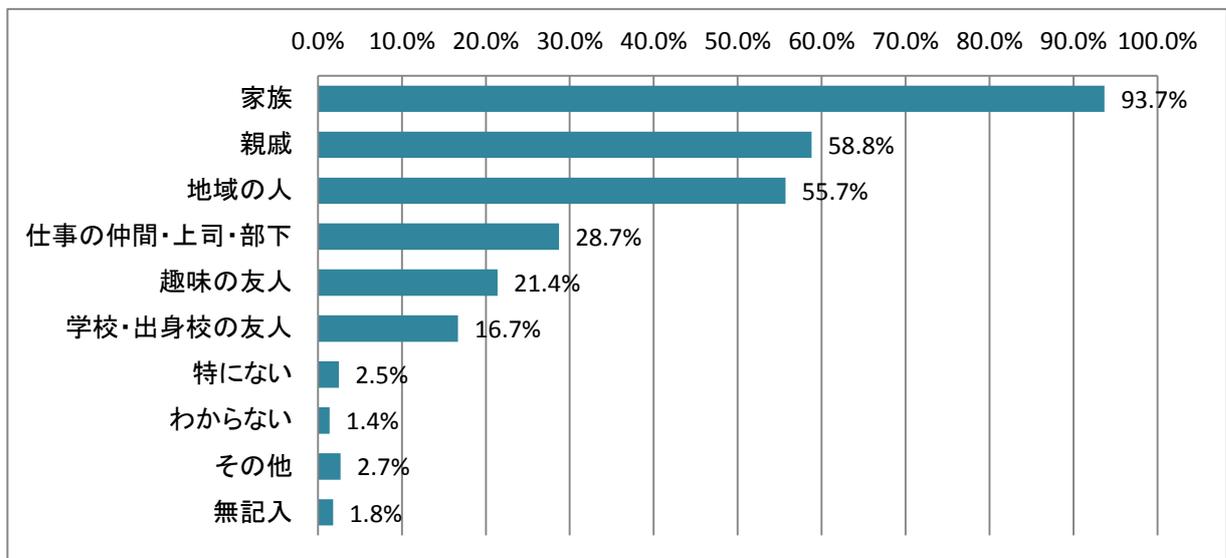
また、前段の地域福祉の設問の中でも、近所づきあいの件や何らかの支援を必要としている方への支援においても『支援をしたいが自分の事で精一杯』と回答された方が4割近くありました。

こういった回答の方にどう理解をしていただき、参加していただくかがカギであると考えます。

### 3 家族と子育てについて

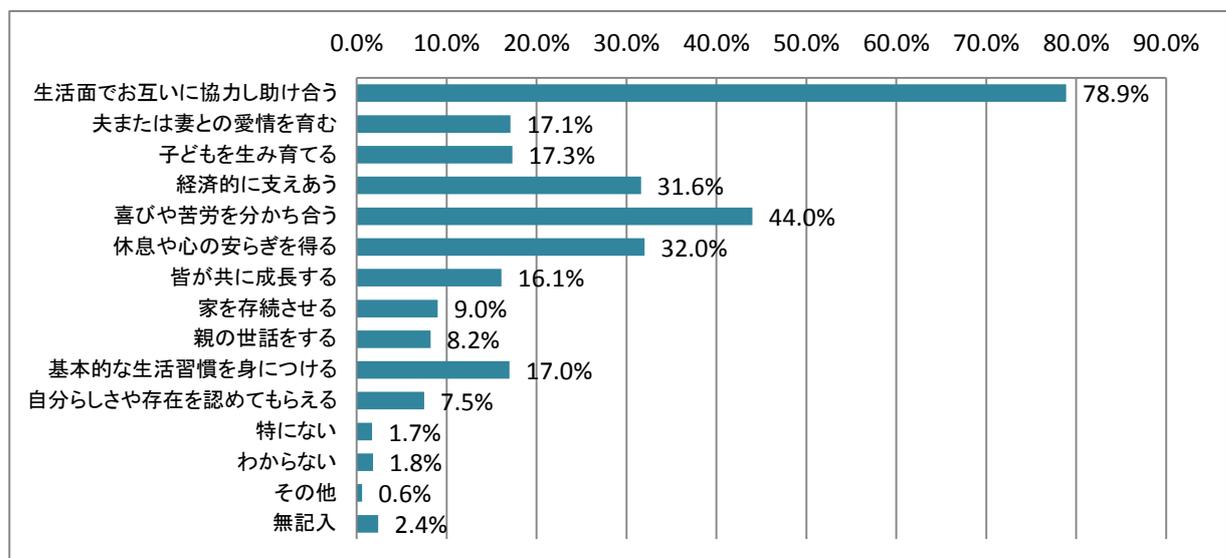
#### I 結婚・家族形成について

問14 大切と思う人間関係やつながりとして、重要だと思うものを3つ選んでください。



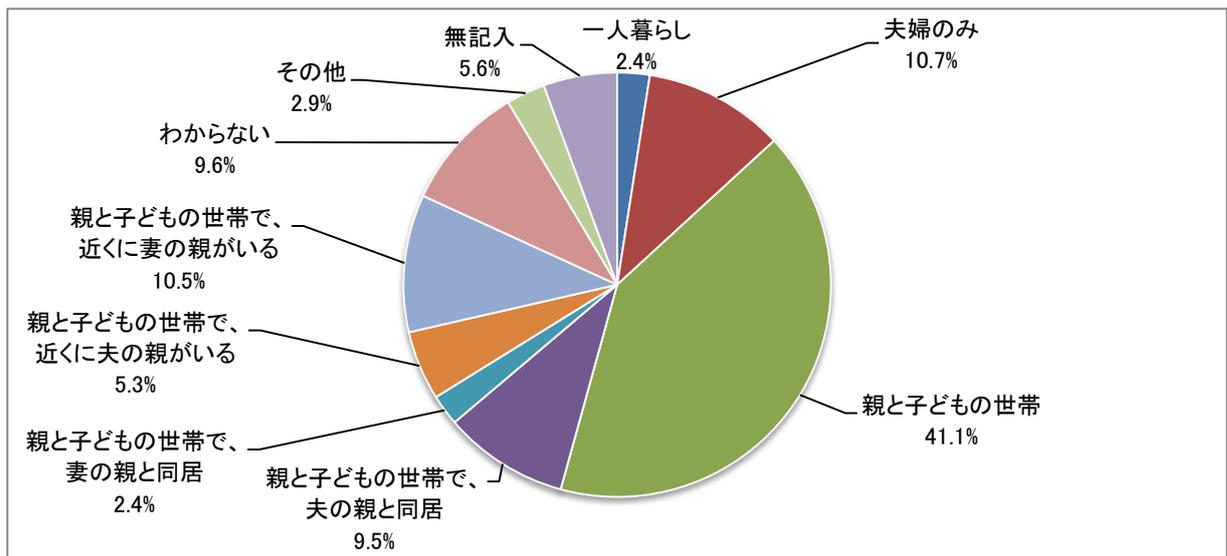
家族を大切と思う人間関係やつながりとして重要だと思う人が93.7%と圧倒的に多く、次いで親戚や地域の人が50%を超えています。多くの人が仕事や学校、趣味の関係やつながりより、家族や親族、地域の人など身近な人との関係やつながりを大切に思っていることがうかがえます。

問15 家族の役割として重要なことと思うものを3つ選んでください。



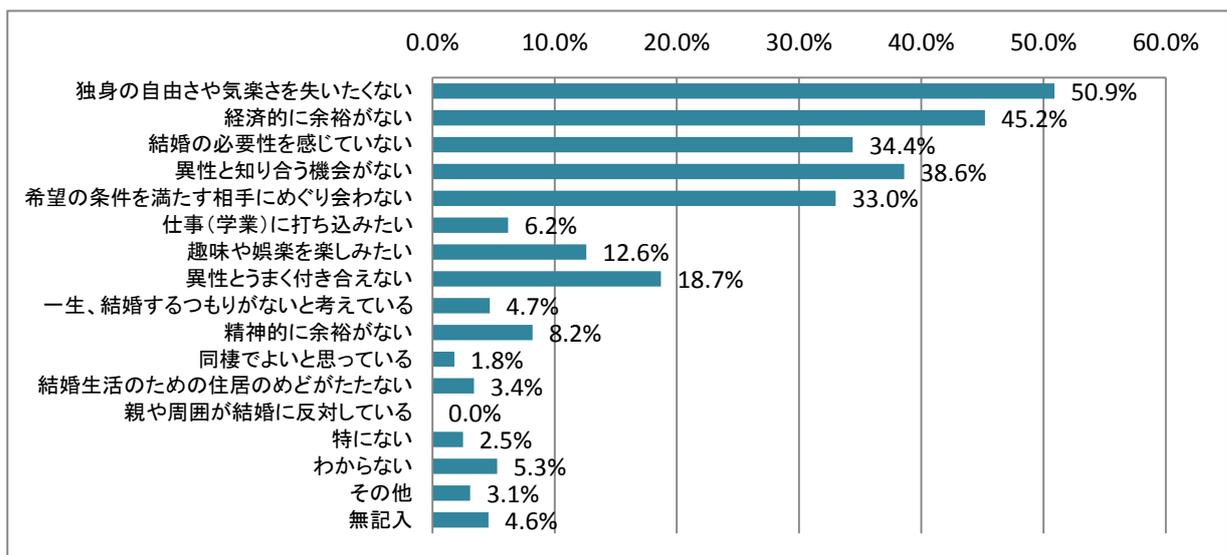
家族の役割として重要なことでは、「生活面でお互いに協力し助け合う」だけが50%を超え78.9%と2番目の「喜びや苦勞を分かち合う」44%の2倍弱となりました。このことから多くの人が、家族はお互いに協力し助け合うことが大切だと考えていることがうかがえます。

問 1 6 理想の家族の住まい方と思うものを1つ選んでください。



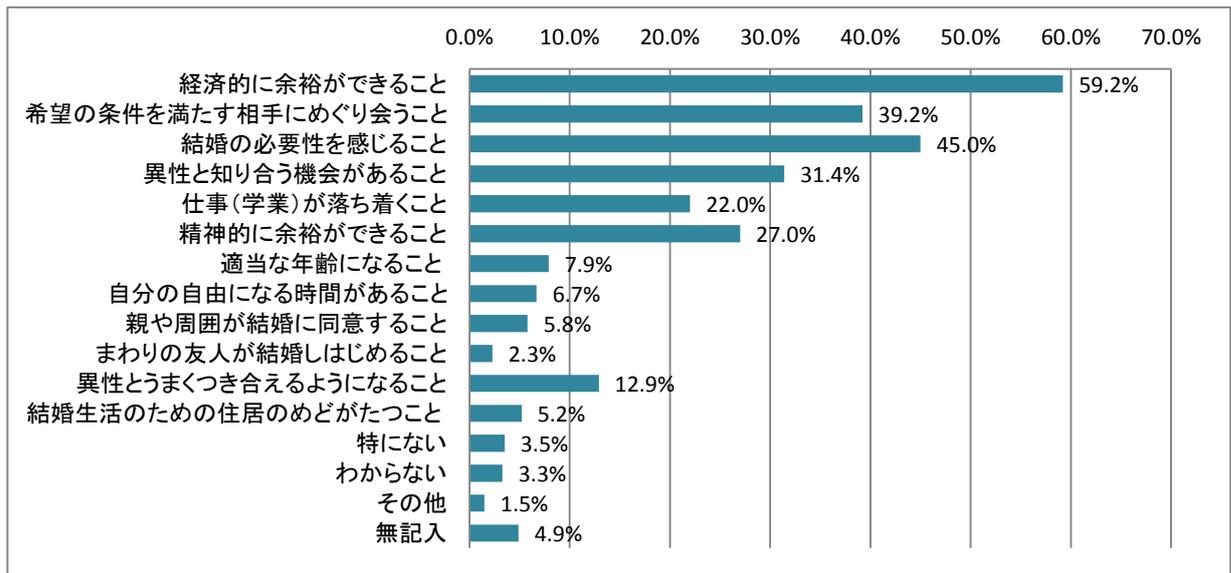
理想の家族の住まい方では、親と同居、近くに親がいるを合わせると27.7%となりますが、これは親と子どもの世帯と回答した41.1%を超えることはなく、核家族化が一般的になっていることが推測されます。また、一人暮らしは2.4%、夫婦のみは10.7%と理想の家族には子どもが大きくかかわっていることがうかがえます。

問 1 7 若い世代で未婚・晩婚が増えています。その理由として思うものを3つ選んでください。



若い世代で未婚・晩婚が進んでいる理由としては、独身の良さを失いたくない、結婚の必要性を感じないなど結婚自体に否定的なもの、経済的に結婚生活を行う余裕がない、条件を満たす相手とめぐりあえないなどの外的な要因によるものなど、その理由は様々であることがうかがえます。

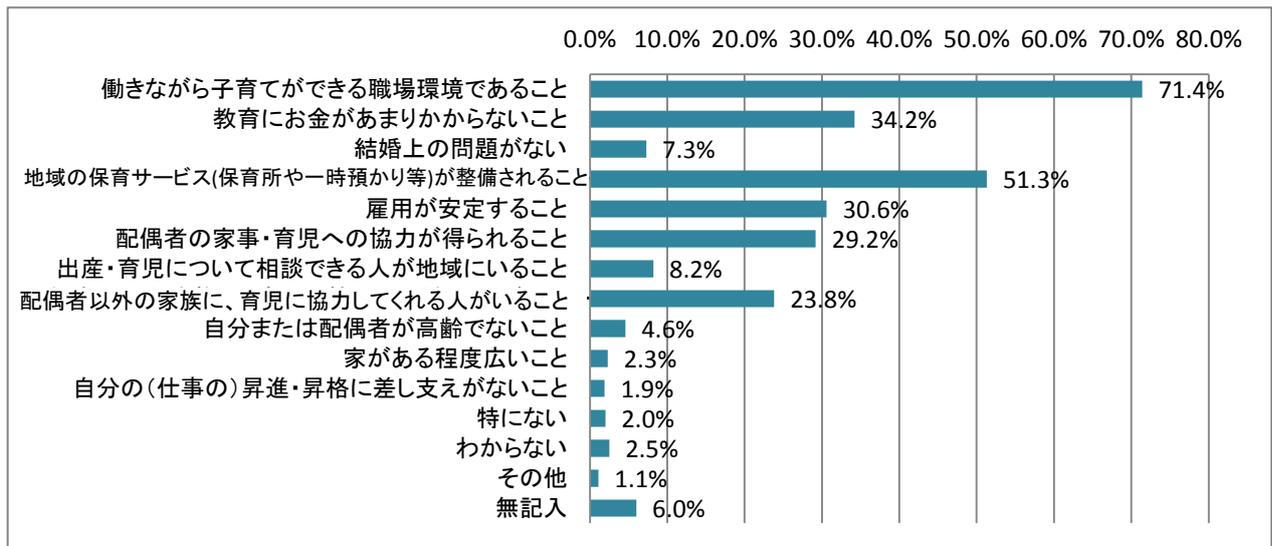
問 1 8 結婚を決心するためには、どの状況が良いと思いますか。3つ選んでください。



結婚を決心するには、59.2%と半数以上の方が経済的に余裕ができることと回答しています。次いで結婚の必要性を感じる(45%)と希望の条件を満たす相手にめぐり会うこと(39.2%)が多く、この結果は問17の結果とほぼ同様であり、若い世代の晩婚化の傾向がうかがえます。

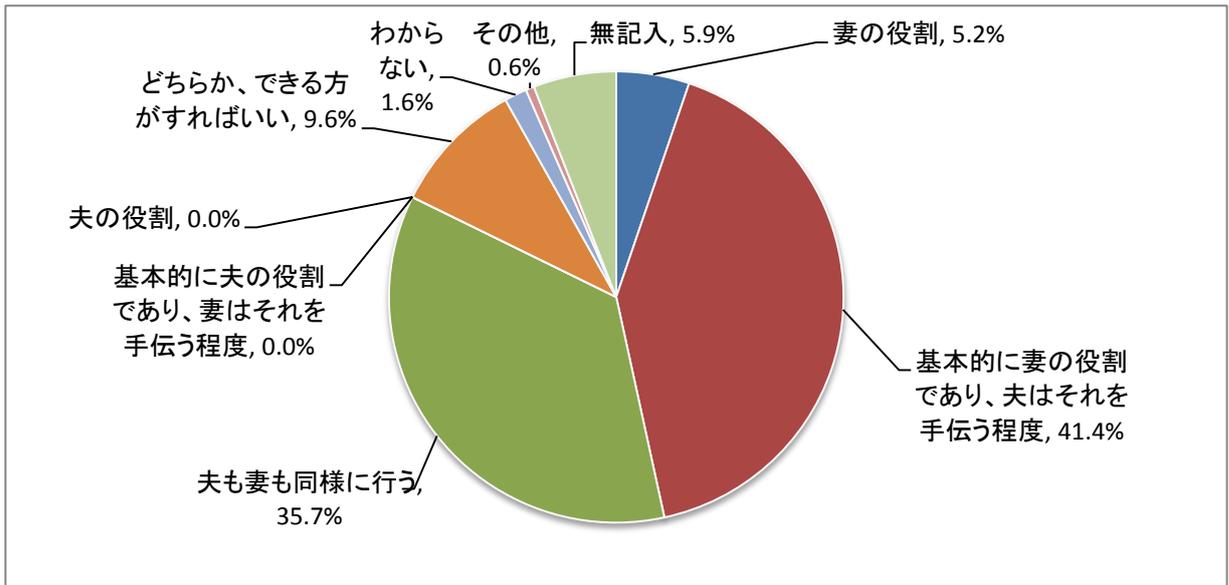
II 家庭における出産や子育てについて

問 1 9 子どもを持つ場合の条件として必要と思うものを3つ選んでください。



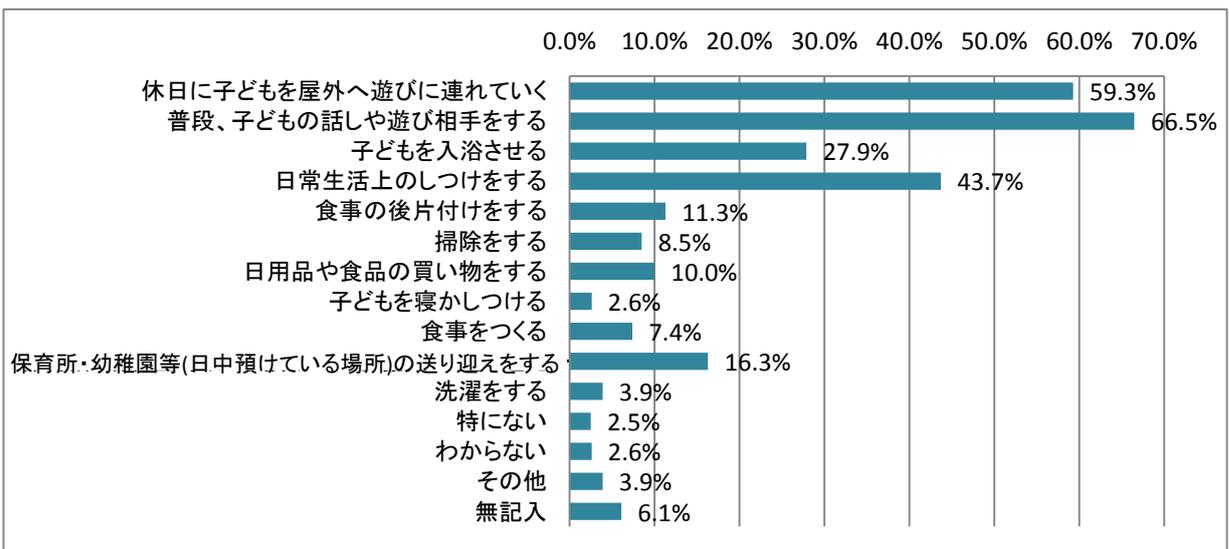
子どもを持つ条件と必要なことは、働きながら子育てができる職場環境が71.4%、次いで地域の保育サービスが整備されていることが51.3%と仕事をしながら子育てができる環境が重要であることがうかがえます。他には、教育にお金がかからないこと、雇用が安定すること、家事・育児に配偶者の協力が得られることが上位となっています。

問 2 0 家庭での育児や家事は、誰の役割としますか。1つ選んでください。



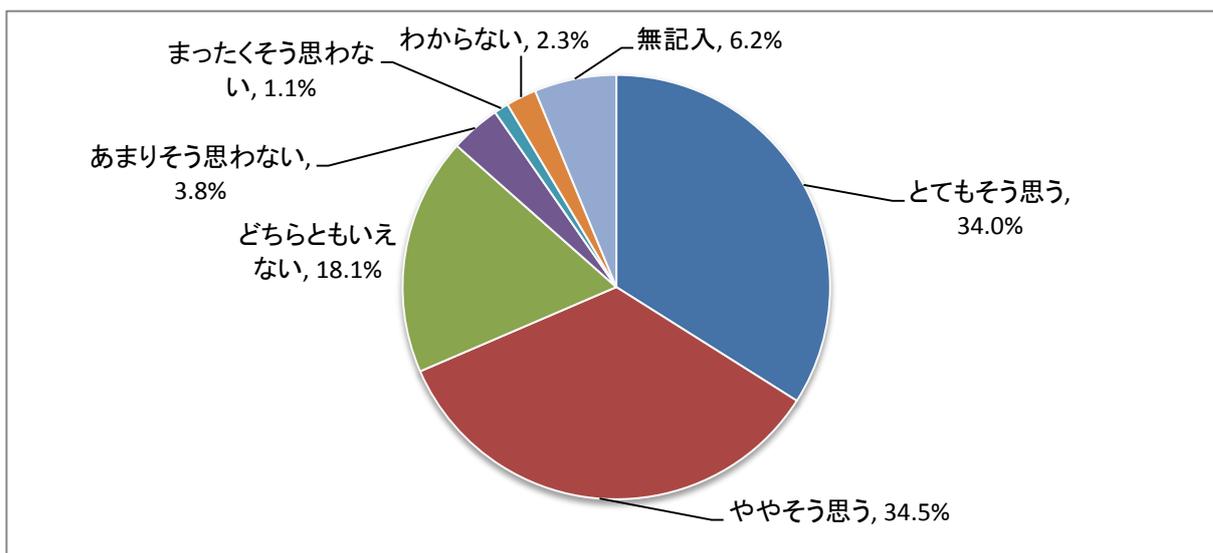
家庭での育児や家事については、妻の役割と基本的には妻の役割の両方で46.6%とほぼ半数を占め、夫の役割、基本的には夫の役割が0%となっています。育児、家事は妻の仕事だと思っていることがうかがえます。一方で夫も妻も同様に行う、できる方がすればいいを合わせると45.3%となり、家事・育児は夫婦で行うものと考えている人も多いことがわかります。

問 2 1 育児や家事で、夫も行った方が良いと思うものを3つ選んでください。



育児や家事で夫も行った方が良いと思うものとして、最も多いのは普段子どもの話しや遊び相手をするで66.5%、次いで、休日に屋外へ遊びにつれていくが59.3%となっています。一方、家事に関するものは、ほぼ10%以下と、夫には家事より育児を行ってほしいと思っていることがうかがえます。

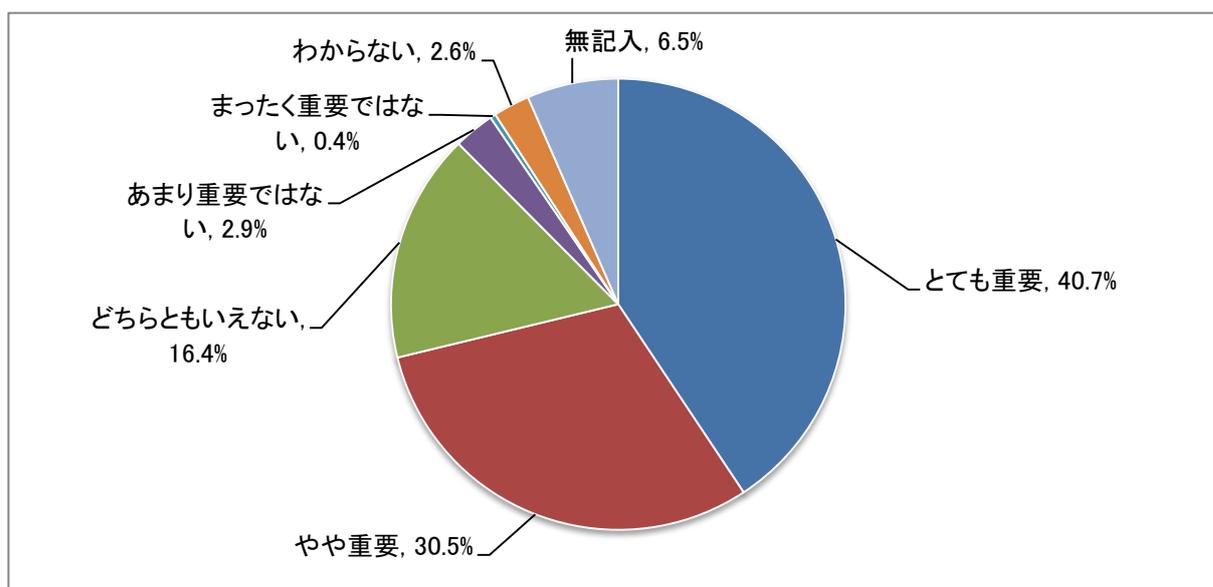
問 2 2 子どもが小学校に入学するまでの間、子どもからみた祖父母が、育児や家事の手助けをすることが望ましいと思いますか。1つ選んでください。



祖父母が育児や家事の手助けをすることが望ましいかの問いには、とてもそう思うとややそう思うで約70%の回答がありました。親と同居や近所に住むことは望まない傾向がありますが、子どもが小さいときには祖父母の手助けが必要だと感じていることがうかがえます。

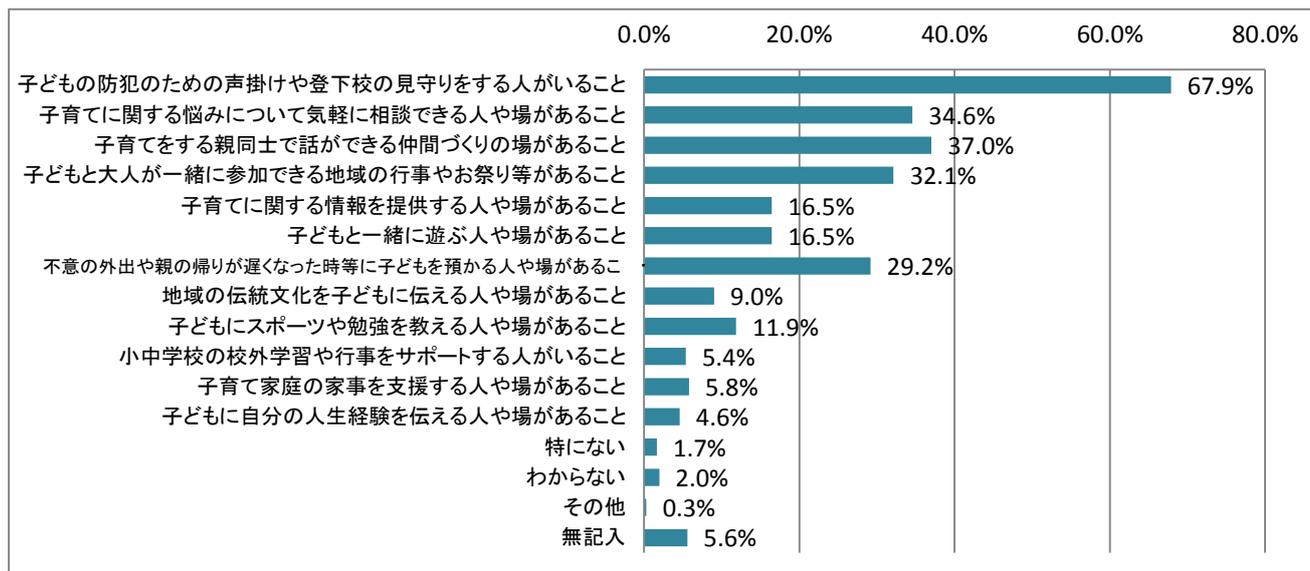
### Ⅲ 地域での子育てについて

問 2 3 子育てする人にとって、地域の支えは重要だと思いますか。1つ選んでください。



子育てする人にとって地域の支えが重要かという問いには、とても重要とやや重要で約70%を占めています。重要でない、あまり重要でないは3%となっており、子育てする人にとって地域の支えの重要性がうかがえます。このことは、大切と思う人間関係やつながりで地域の人が家族・親族について上位になったことと深く関わりがあるように思われます。

問 2 4 地域で子育てを支えるために必要だと思うものを3つ選んでください。



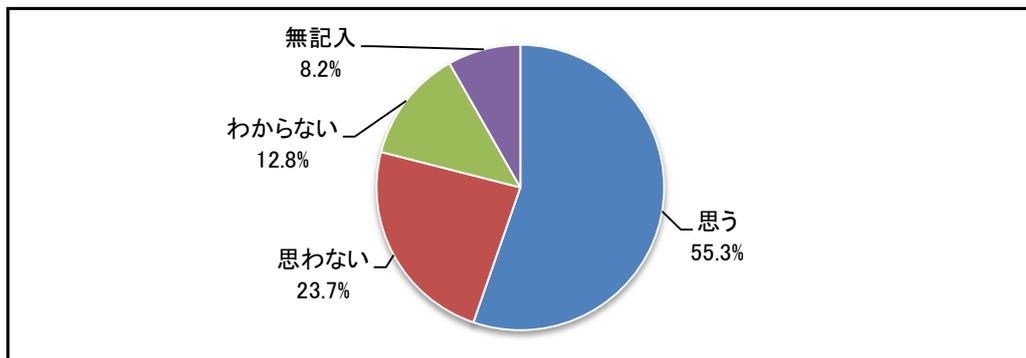
地域で子育てを支えるために必要なことは、子どもの防犯のための声掛けや登下校の見守りをする人と考えている人が67.9%と圧倒的に多くなっています。これは最近多発している幼児や児童の連れ去り事件などの影響が反映しているものと思われます。

## 4 環境問題について

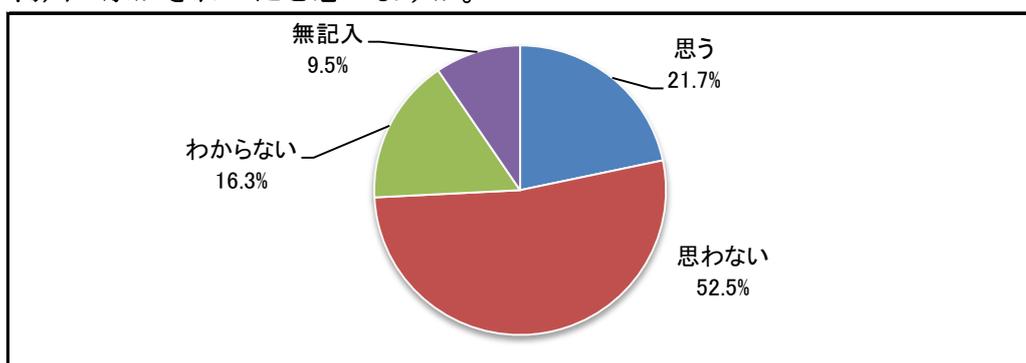
### I 自分が住んでいる地域の環境について

問 2 5 自分が住んでいる地域の環境について、当てはまるものを1つ選んでください。

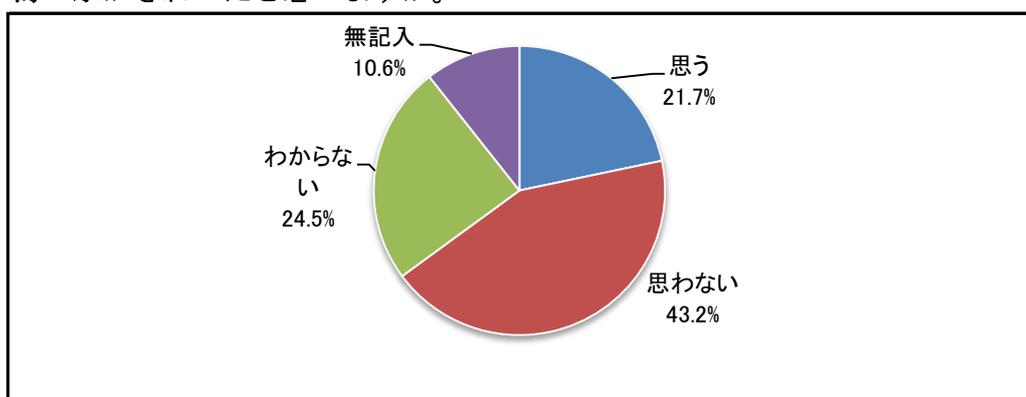
ア 空気がきれいだと思いますか。



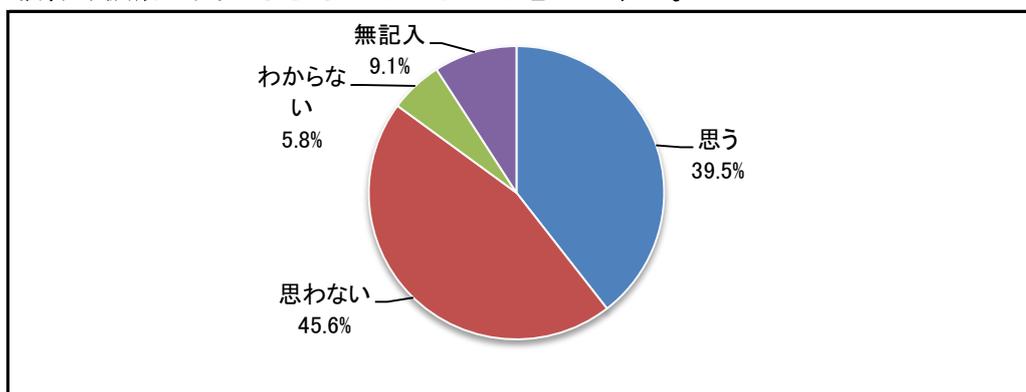
イ 河川の水がきれいだと思いますか。



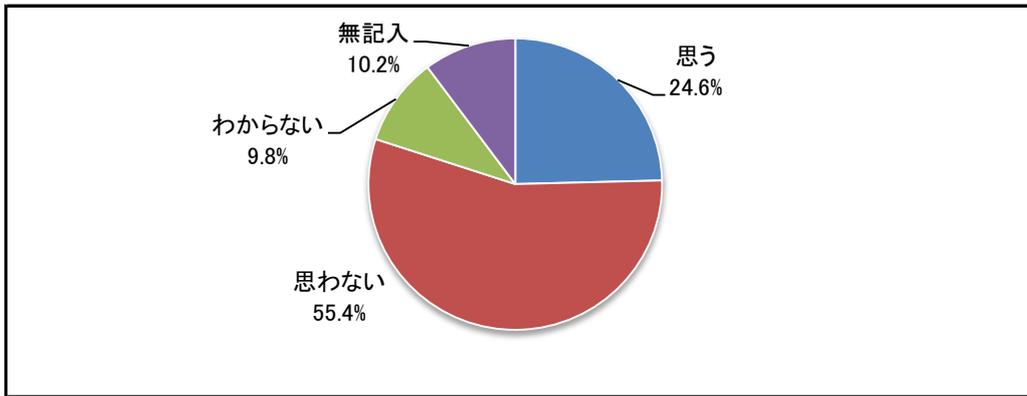
ウ 海の水がきれいだと思いますか。



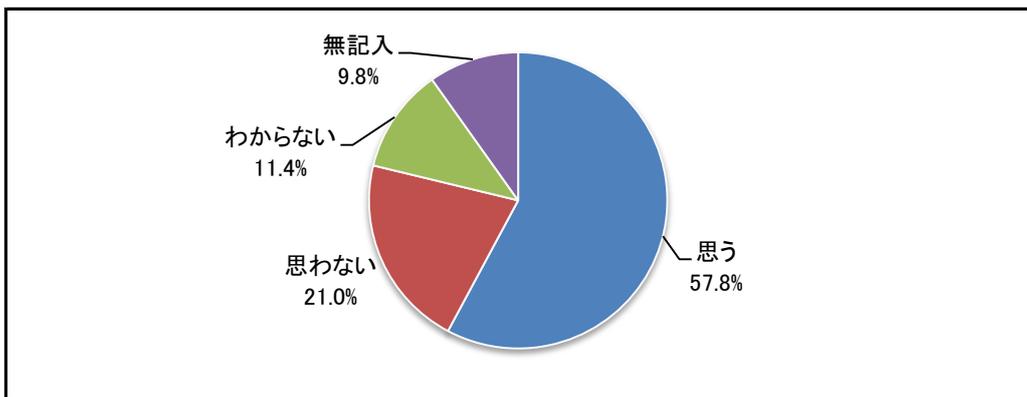
エ 騒音や振動が気にならないところだと思いますか。



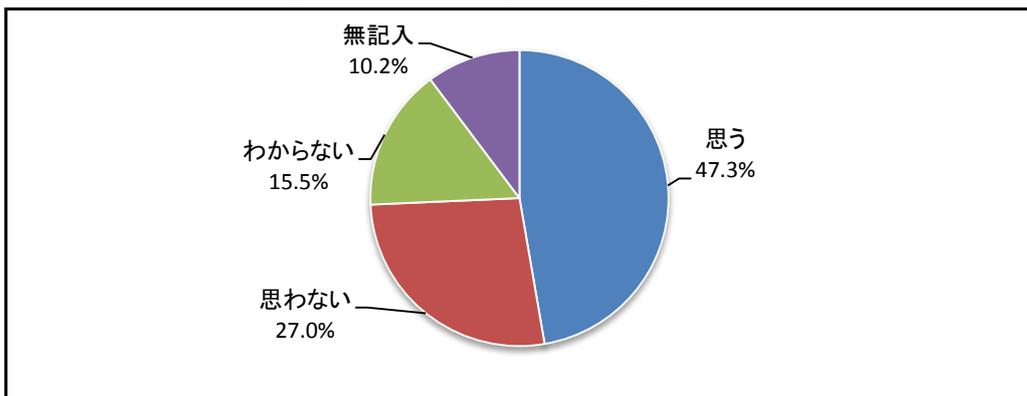
オ 工場、畜舎などからの悪臭が気になると思いますか。



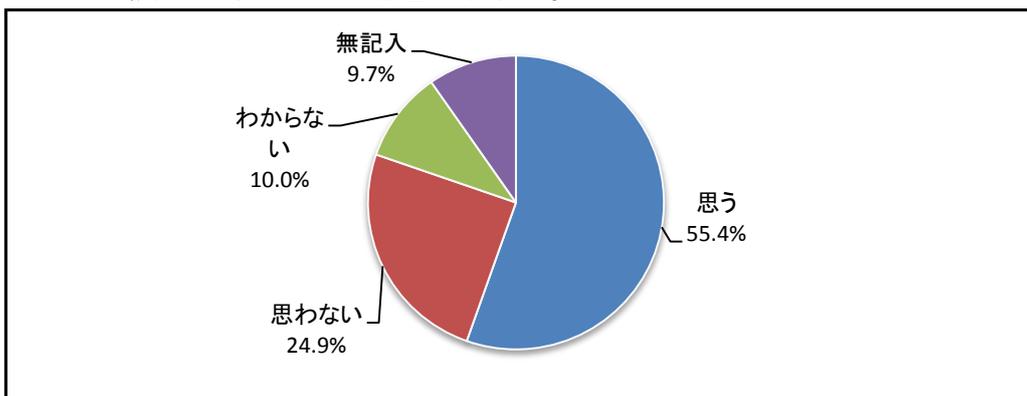
カ 山や森の自然が豊かだと思いませんか。



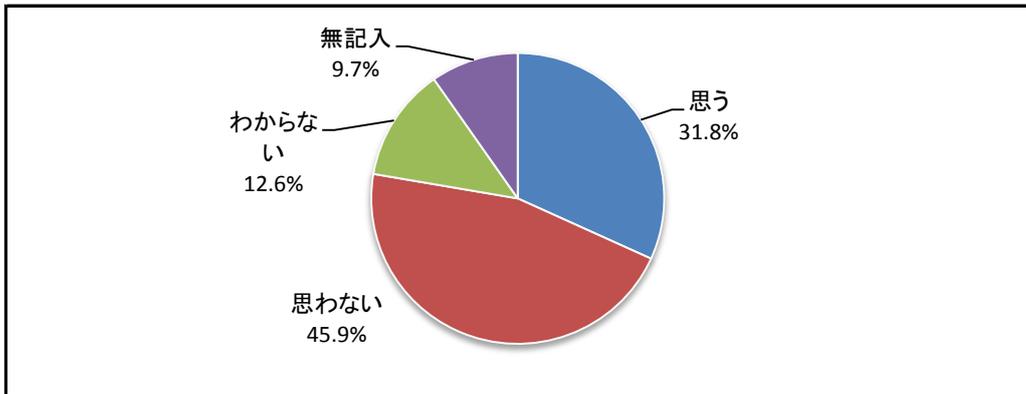
キ 多くの自然や生物に恵まれていると思いませんか。



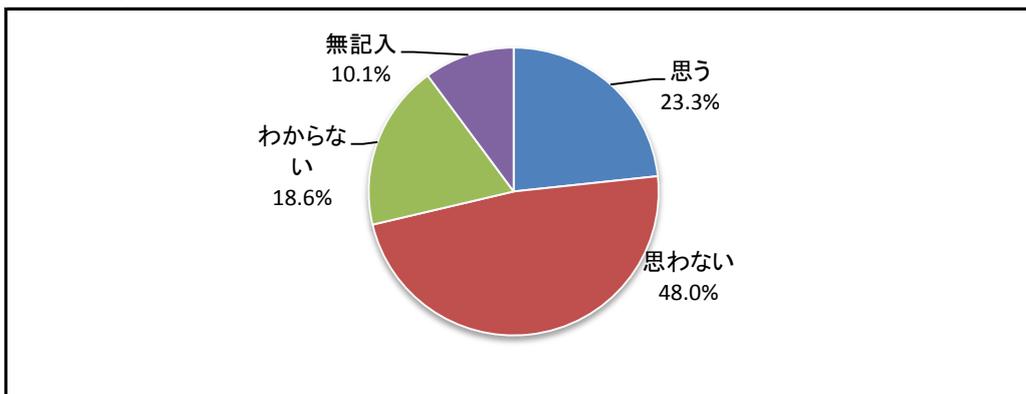
ク 田や畑の農地の緑が豊かだと思いませんか。



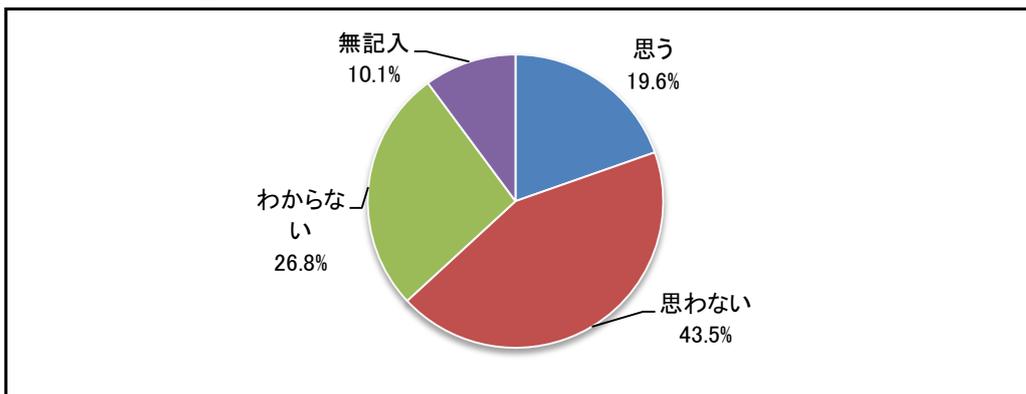
ケ 公園や道路、宅地などの緑が豊かだと思いますか。



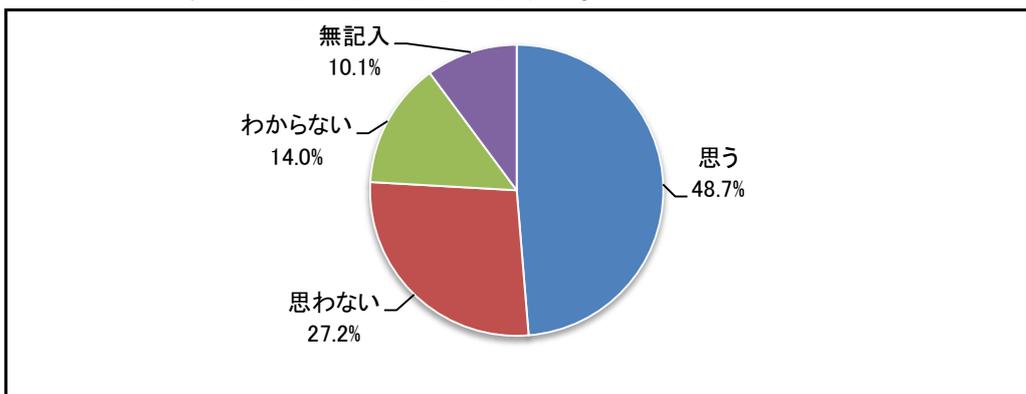
コ 河川や海とのふれあいが豊かだと思いますか。



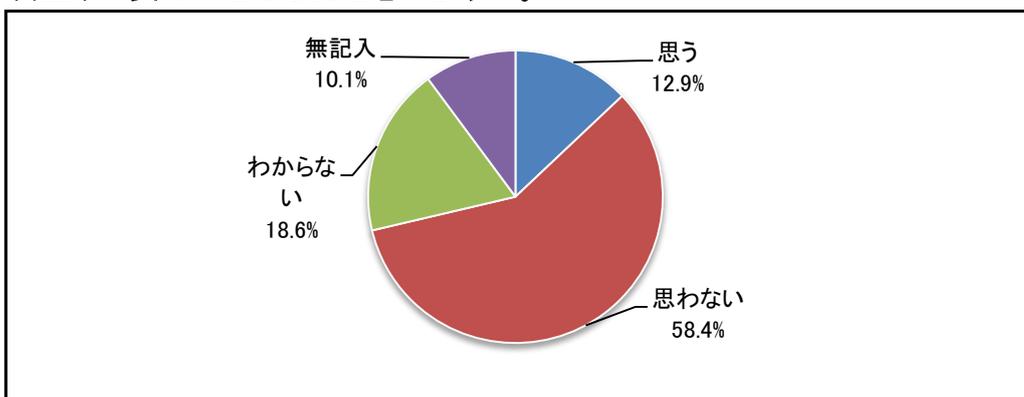
サ 歴史や文化に恵まれていると思いますか。



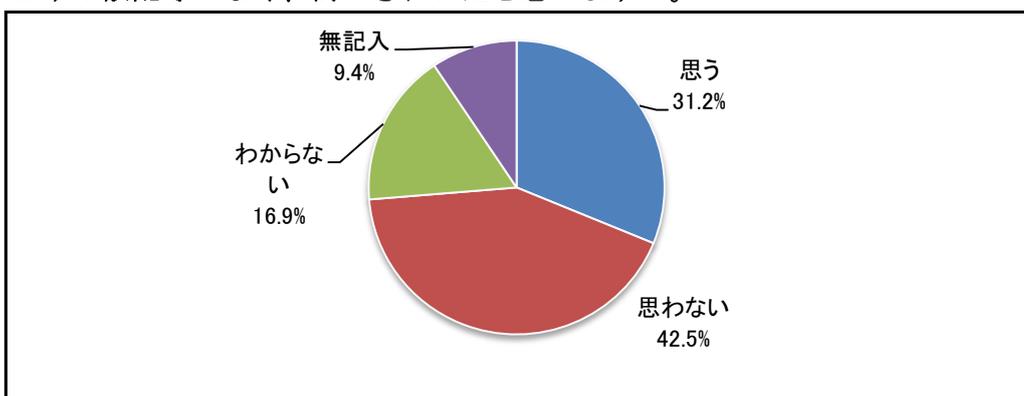
シ 自然の景色が美しいところだと思いますか。



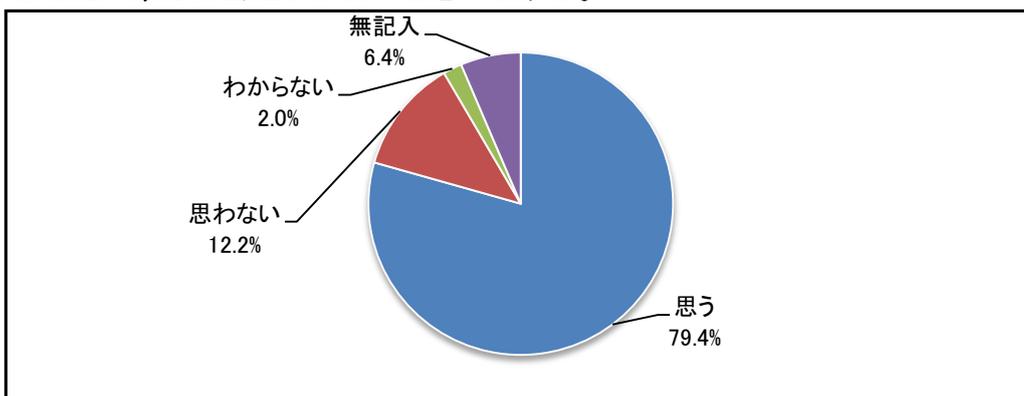
ス 街並みの美しいところだと思いますか。



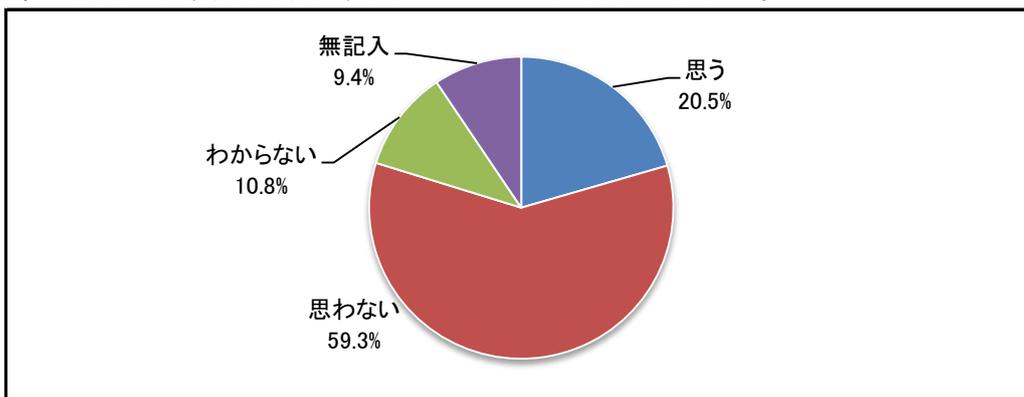
セ ごみの散乱等がなく、街がきれいだと思いますか。



ソ あなたの家は日当たりがよいと思いますか。



タ 家の近くの公園や広場は、広いスペースだと思いますか。

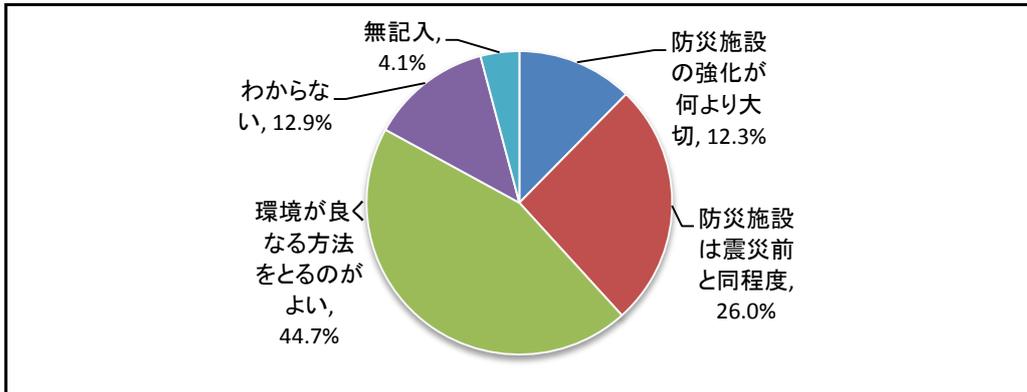


問25の回答結果から、自分が住んでいる地域の環境として、山や森などの自然が豊かで多様な生物に恵まれている反面、河川や海の水質、騒音・振動や悪臭などの公害問題が、住みよい環境を作り上げるうえでの課題であるということがわかりました。

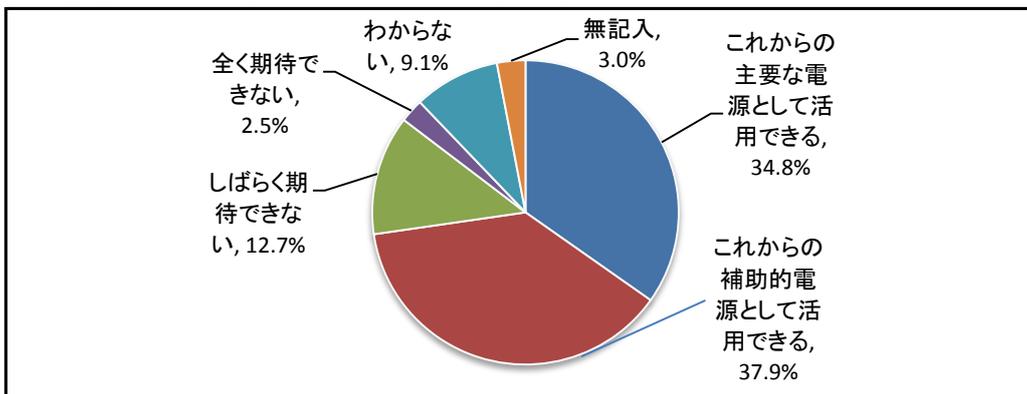
## II 震災後の環境変化について

問 2 6 震災後の環境変化に関する次のア～ウについて、それぞれ当てはまるものを1つ選んでください。

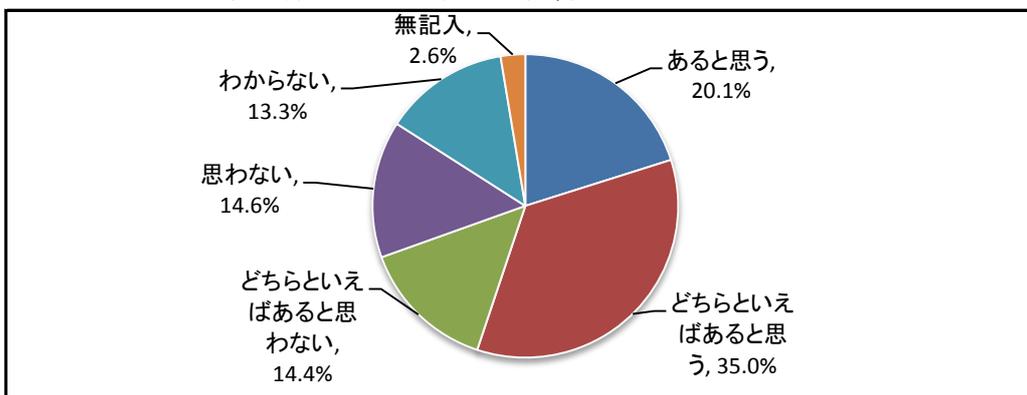
### ア 防災施設の建設と環境への影響について



### イ 太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギーの導入について



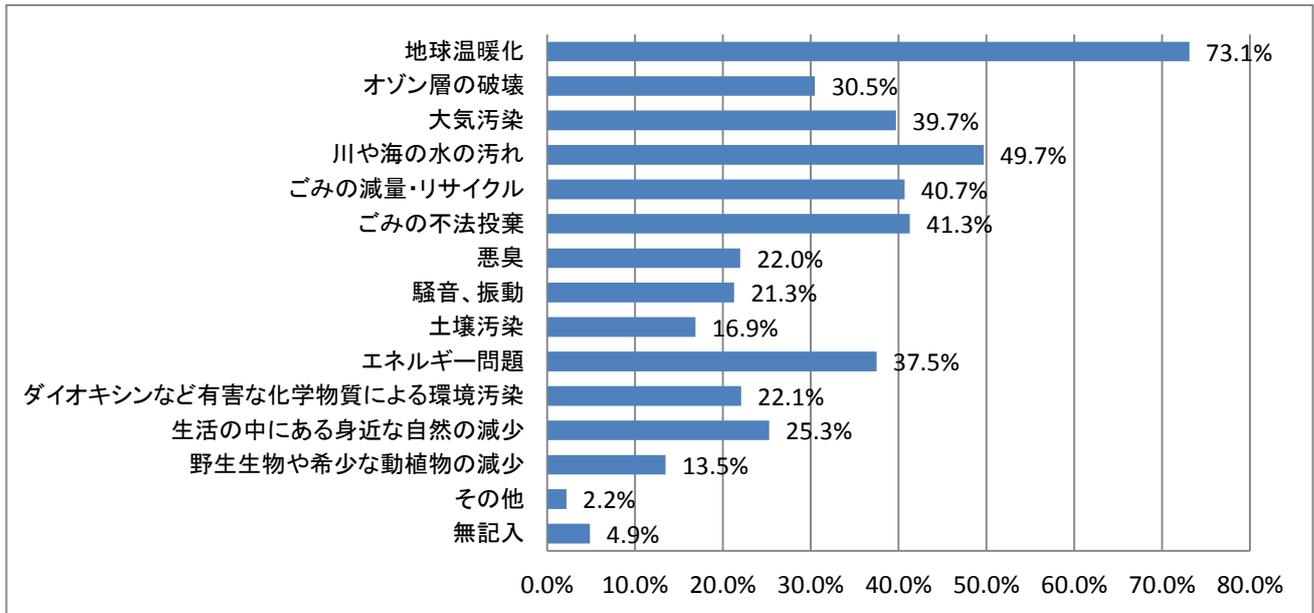
### ウ 石巻市における放射線による健康への影響について



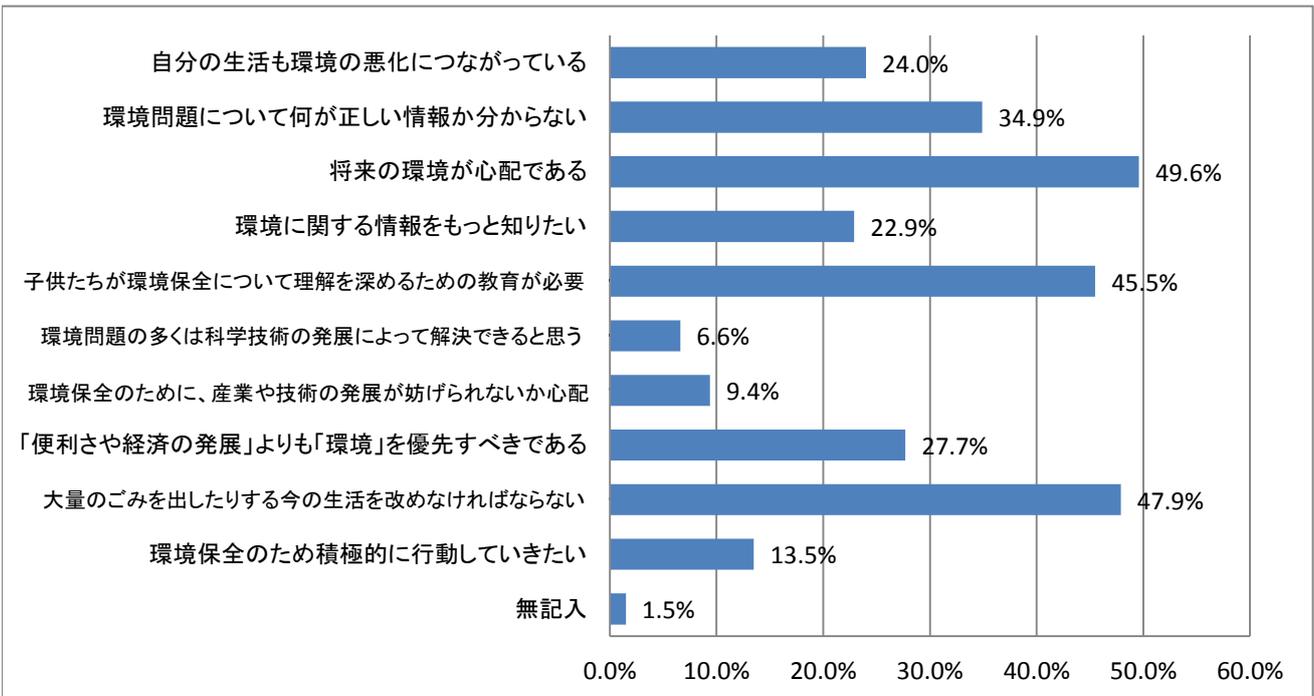
問 2 6～2 8 の回答結果から、防災施設の建設に関しては環境に配慮した建設が望ましいという結果が得られました。また発電方法についても太陽光発電等の環境に配慮したもの又は災害に強い電源への期待・関心が見て取れる結果となりました。また、問 2 8 からは過半数の回答者が放射線の健康への影響がある、どちらかといえばあると回答していました。

### Ⅲ その他、関心のある環境問題等

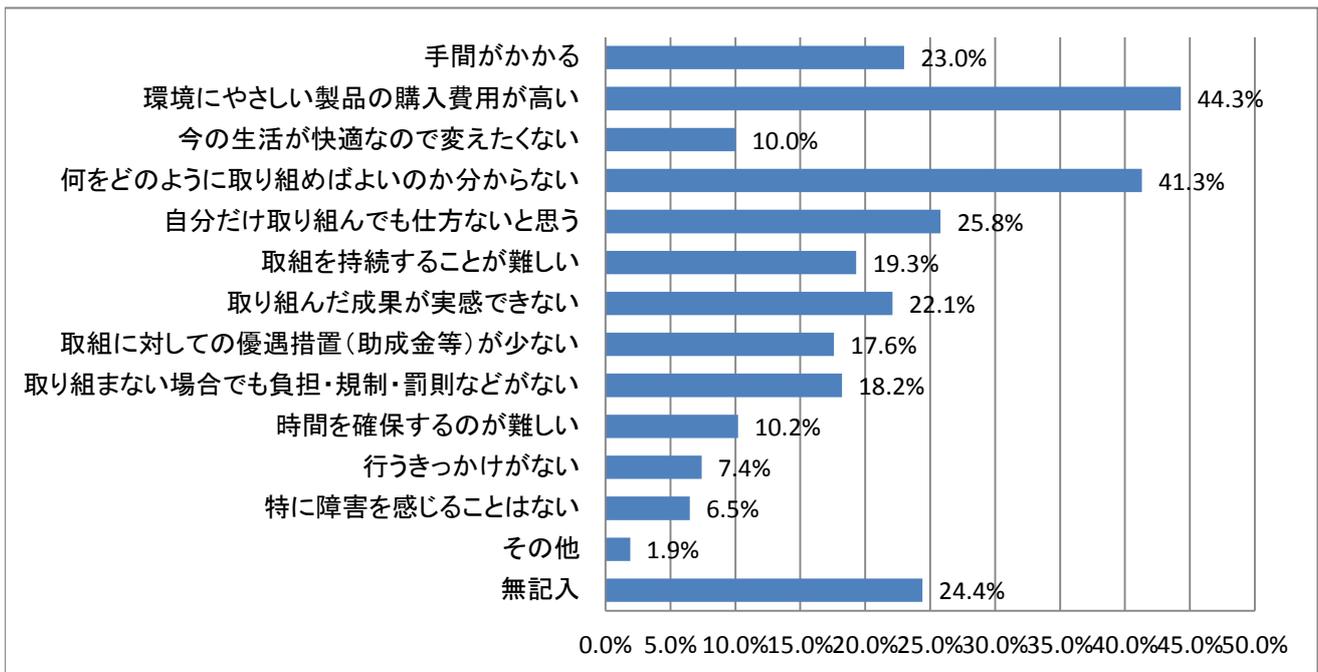
問 2 7 関心のある環境問題等について、当てはまるものを全て選んでください。



問 2 8 環境に対してどのようにお考えですか。当てはまるものを全て選んでください。



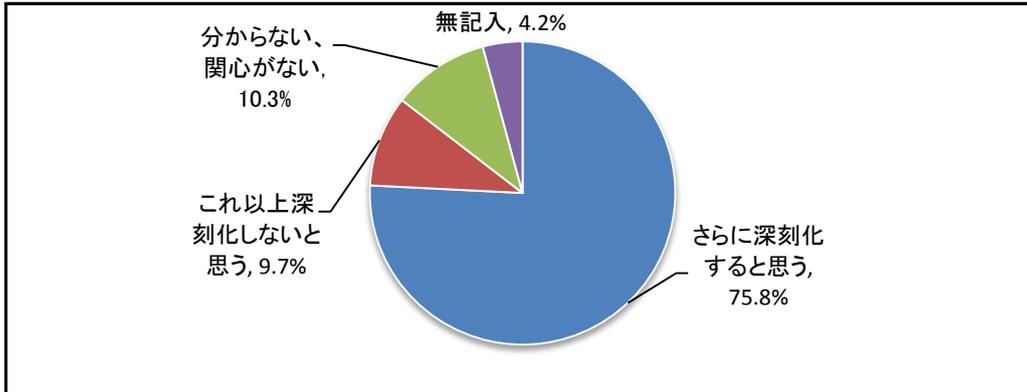
問29 どのようなことが環境保全活動の障害となっていますか。当てはまるものを全て選んでください。



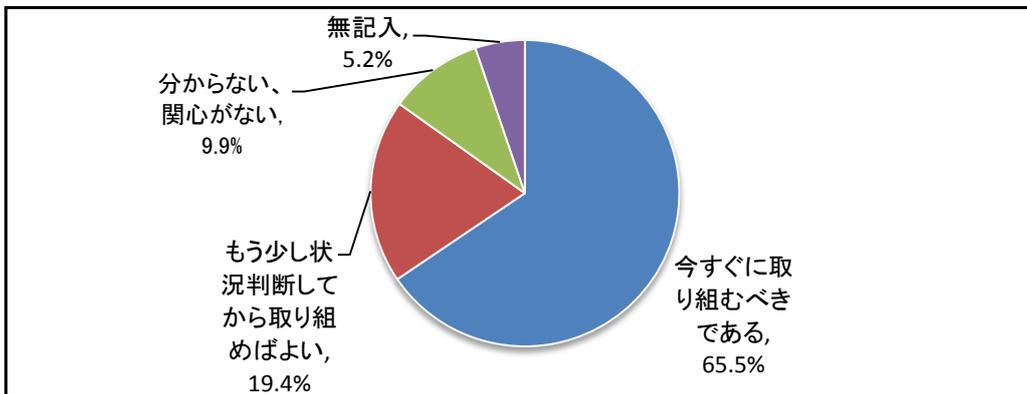
問27～29の回答結果から、多くの市民の方が地球温暖化について関心を持っており、環境問題を身の回りの生活に関わる身近な問題として捉えているという結果が得られました。しかし、環境問題に関心はあるものの、実際に環境保全活動に取り組むに当たり、何をすればいいのか分からない、取組の成果の実感がないなど障害の多い問題であるということがわかりました。

#### IV 今後の環境問題について

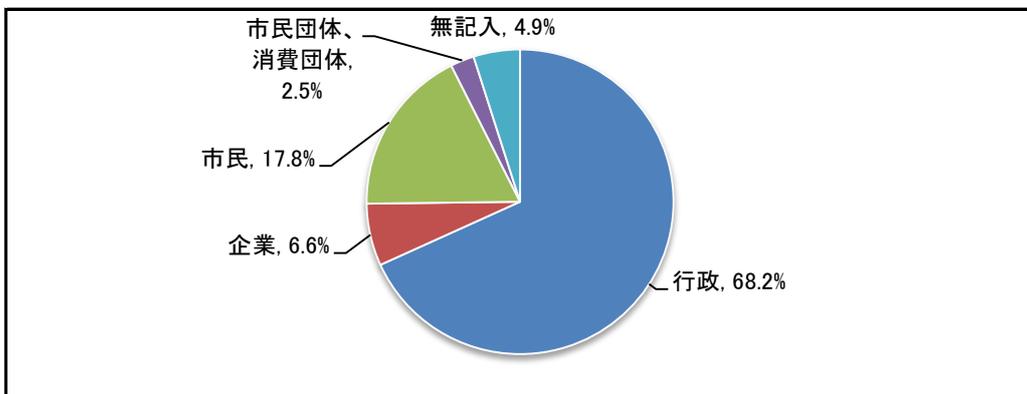
問30 今後の環境問題について、自分たちの世代にどのようになると考えていますか。1つ選んでください。



問31 環境問題の解決について、どのように考えていますか。1つ選んでください。



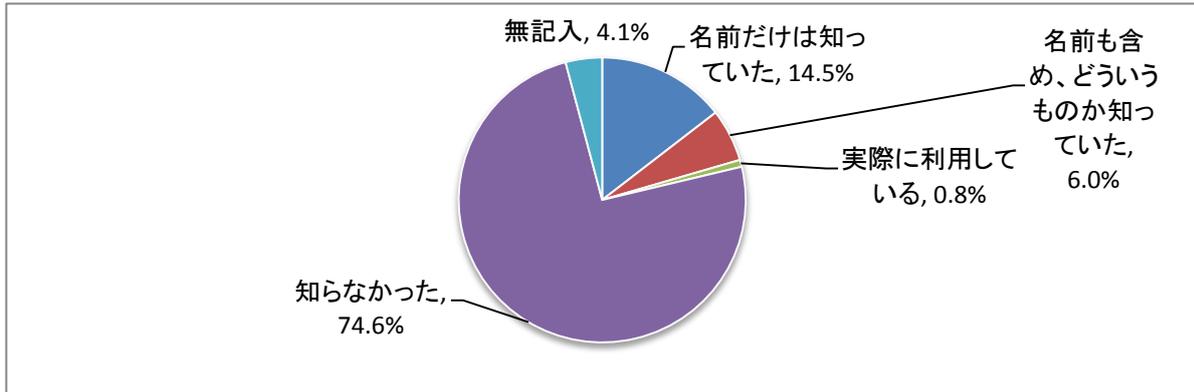
問32 これからの環境問題の改善に当たって、主体となるべきは誰だと思えますか。1つ選んでください。



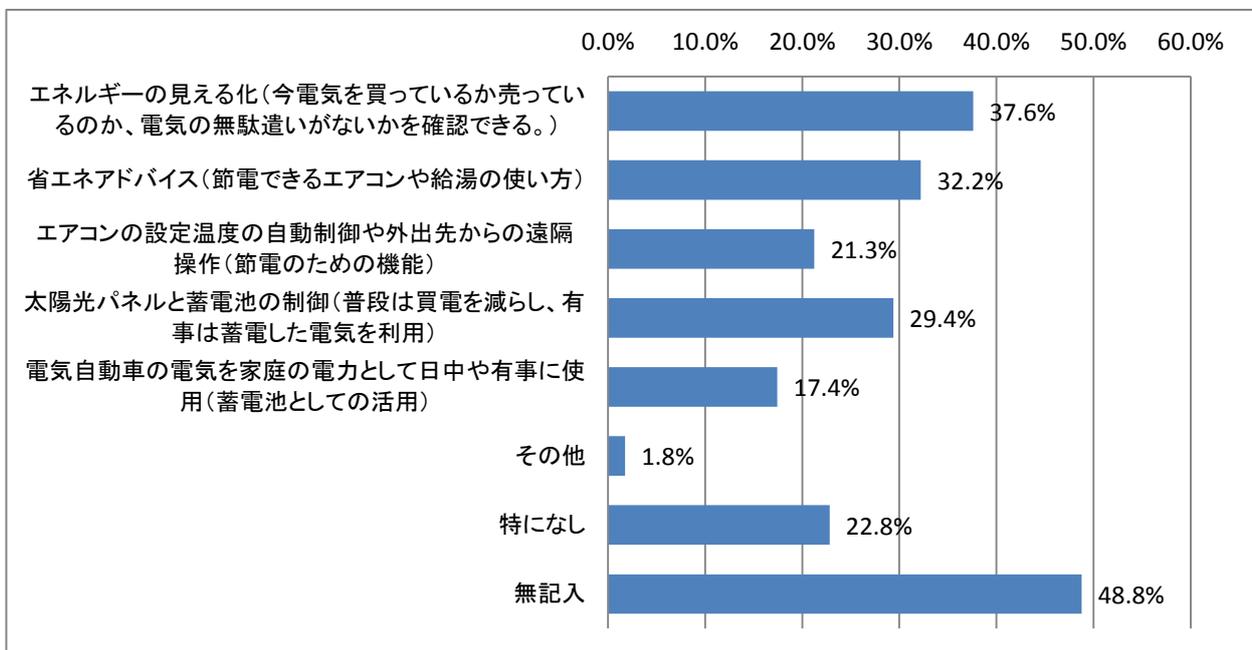
問30～32の回答結果から、今後環境問題はさらに深刻化すると考えられ、解決に向け今すぐに取り組むべきという回答が多数を占めました。それら環境問題の改善に当たり、主体となるべきは行政という回答が数を占め、市民が主体となるべきという意見は2割弱という結果となりました。

## 5 ホーム・エネルギー・マネジメントシステムの利用について

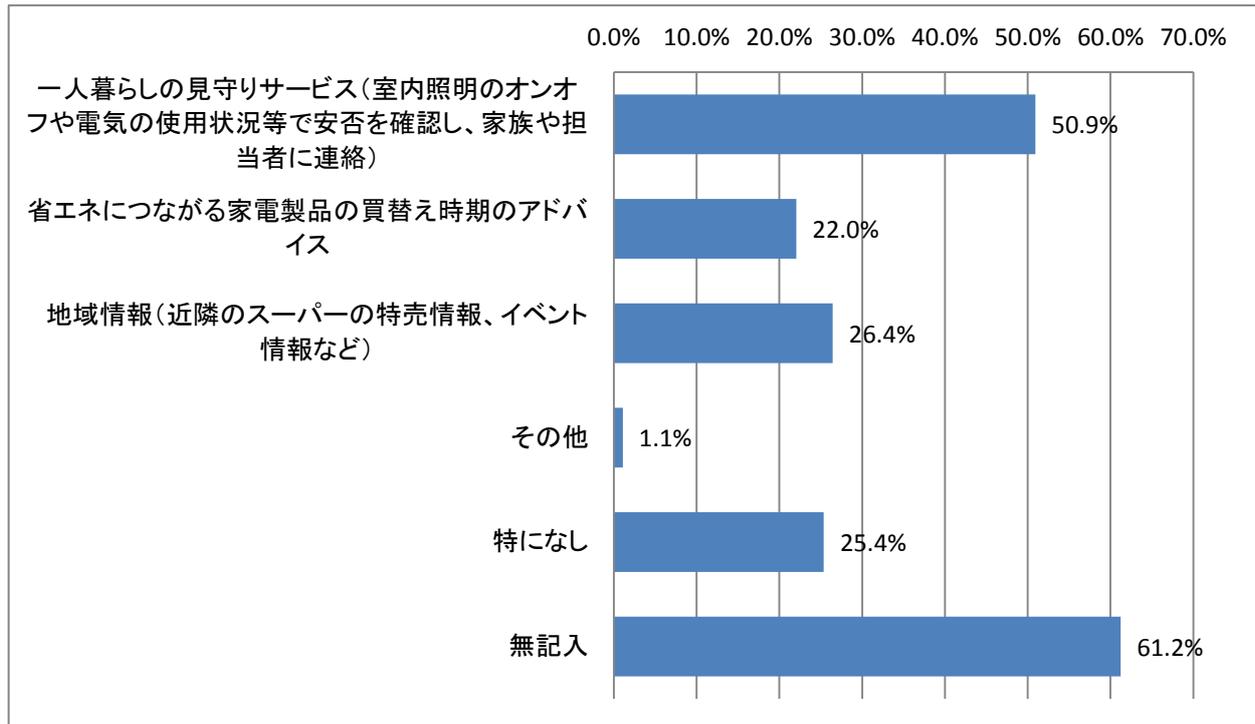
問33 HEMSがどういったシステムか知っていましたか。1つ選んでください。



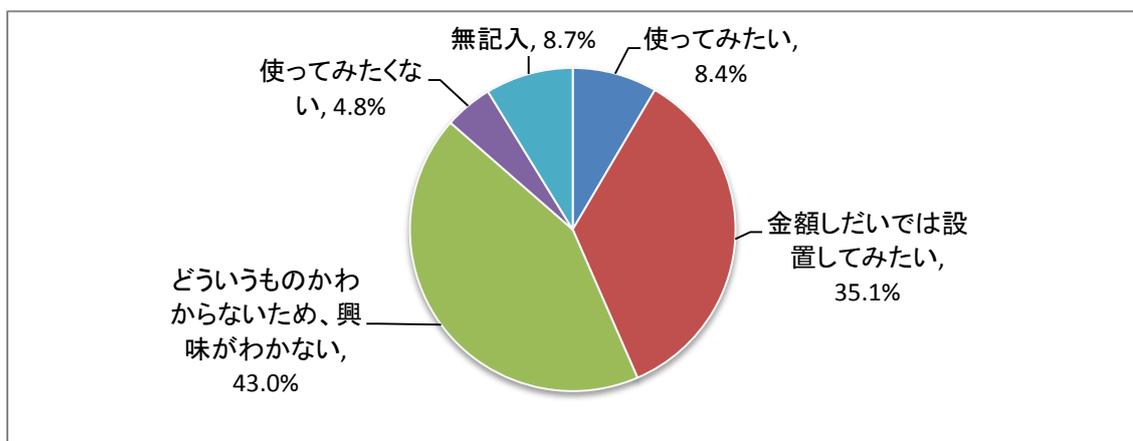
問34 HEMSと家電や機器を接続することで、節電や遠隔操作ができます。次の中で利用してみたい機能はありますか。当てはまるものを全て選んでください。



問35 エネルギー情報を利用したサービスや、<sup>ヘムス</sup> HEMSの画面（モニターやパソコン、スマートフォン）にあったら便利な情報はありますか。当てはまるものを全て選んでください。



問36 <sup>ヘムス</sup> HEMSをご自宅に設置してみたい、もしくは使ってみたいと思いますか。1つ選んでください。



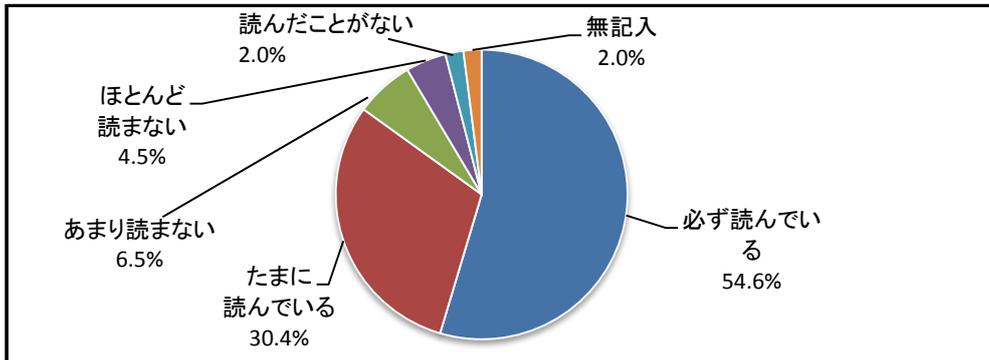
問33については、75%の方がHEMSの存在を知らないと回答していますが、問34、35を通してHEMSを利用することでどういったことができるのか、わかった状態では、問36のとおり、「使ってみたい」、「金額しだいで設置してみたい」という回答の合計が43%と、HEMSについて、半数弱の方が興味を持っていることが見て取れます。

問35のあったら便利な機能については、アンケートに回答した半数の方が、「一人暮らしの見守りサービス」と回答しており、何かあったときの対応に関するサービスに関心が寄せられていることがわかりました。

## 6 広報事業について

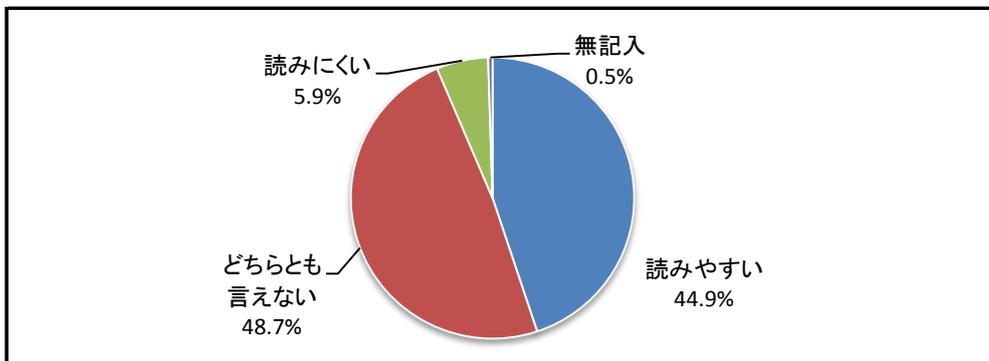
### I 「市報いしのまき」についてお聞きします。

問37 「市報いしのまき」を読んでいますか。1つ選んでください。



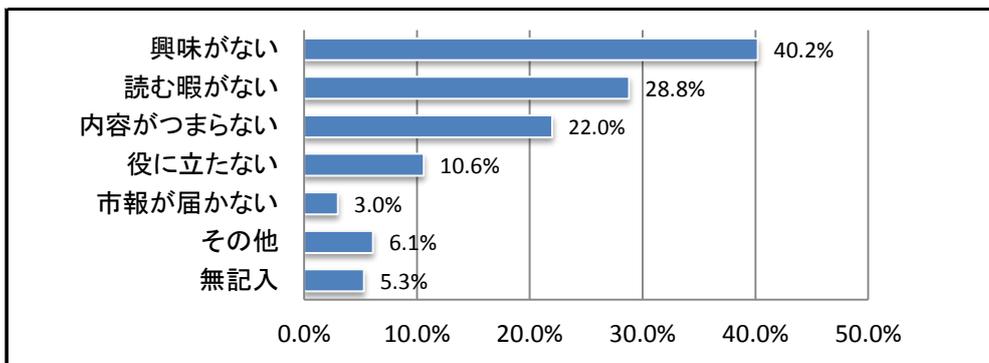
「必ず読んでいる」と「たまに読んでいる」を合わせると8割以上が市報を目にしていることになり、市政への関心と積極的に情報を取り入れようとしていることがうかがえます。

問38 問37で1・2と回答した方にお聞きします。  
「市報いしのまき」は読みやすいですか。1つ選んでください。



「読みにくい（5.9%）」よりも「読みやすい（44.9%）」の方が多いため、「どちらとも言えない（48.7%）」が最も多い結果となっています。さらに読みやすい紙面作りが必要であると考えられます。

問39 問37で3・4・5と回答した方にお聞きします。  
その理由はなんですか。当てはまるものを全て選んでください。



「あまり読まない」、「ほとんど読まない」、「読んだことがない」の理由としては、「興味がない（40.2%）」が最も多くなっています。魅力ある内容の紙面を作っていく必要があるということがうかがえます。また、「読む暇がない」が2番目に多い回答となっているため、時間をかけずに読むことができる簡潔な記事となるよう原稿の精査を十分に行うことが必要と考えられます。